

令和6年3月14日

令和5年度第2回臨時松本市教育委員会

会 議 議 案

松本市教育委員会

令和5年度第2回臨時松本市教育委員会付議案件

[議案]

第1号 松本市教育委員会と松本市教育会との教育に関する連携協定の締結について

第2号 指導上の措置について【非公開】

追加 第3号 令和6年度版松本市教職員研修計画について

議案第 1 号

松本市教育委員会と松本市教育会との教育に関する連携協定の締結について

1 趣旨

松本市教育委員会と松本市教育会が、教職員の資質能力の向上と松本市内の学校教育の活性化を目的として、教育に関する連携協定を締結することについて協議するものです。

2 松本市教育委員会と松本市教育会との教育に関する連携協定書（案）
別添のとおり

3 今後の予定
今月下旬に連携協定を締結します。

担当	教育政策課
課長	小西 えみ
電話	33-3980



学びに、遊びや体験を。



松本市教育委員会と松本市教育会との教育に関する連携協定書(案)

松本市教育委員会と松本市教育会との教育に関する連携協定書 松本市教育委員会（以下「甲」という。）と松本市教育会（以下「乙」という。）とは、次のとおり教育に関する連携協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、甲と乙との協力関係をより一層強化し、教職員研修の推進、児童生徒の学びづくりの支援など幅広い分野での緊密な相互連携と協働により、教職員の資質能力の向上、松本市内の学校教育の活性化を目的とする。

（連携・協力内容）

第2条 甲と乙は、前条に規定する目的を達成するため、次に掲げる事項について、連携し、協力して取り組むものとする。

- (1) 教育研究に関すること。
- (2) 教職員研修に関すること。
- (3) その他前条の目的を達成するために必要な事項に関すること。

（連携・協力内容の決定）

第3条 前条に掲げる事項についての年間事業計画を作成し、個々の連携・協力の具体的内容及び費用負担については、必要に応じて甲、乙協議のうえ別に定めるものとする。

（守秘義務）

第4条 本協定に基づく事業を行ううえで、甲及び乙が互い知り得た情報は、第2条に定める事項を行うためのみに使用するものとし、事前に相手方の承諾なくして第三者に開示又は漏洩してはならない。ただし、法令又は条例の規定により開示しなければならない場合を除く。

2 前項の規定は、本協定の期間が満了した後においても効力を有するものとする。

（協定期間）

第5条 この協定の有効期間は、協定締結日から令和7年（2025年）3月31日までとする。

2 前項の有効期間が満了する日の30日前までに、甲及び乙のいずれからも特段の申し出がない場合には、この協定の期間は1年間更新されるものとし、その後も同様とする。

(連絡責任者)

第6条 この協定を円滑かつ効率的に進めるために、甲及び乙は連絡責任者等を定める。

2 連絡責任者等に変更が生じた場合には、甲及び乙は速やかに相手方に対して、報告をするものとする。

(本協定の見直し)

第7条 甲、乙のいずれかから、本協定の内容の変更を申し出た時は、その都度協議のうえ必要な変更を行うものとする。

(協議)

第8条 この協定に定めのない事項又はこの協定に定める事項に疑義が生じた場合は、甲、乙協議のうえこれを定めるものとする。この協定の締結を証するため、本書を2通作成し、甲乙署名の上、各1通を保有する。

令和6年(2024年)3月 日

甲 長野県松本市大手3-8-13
松本市教育委員会
教育長 伊佐治 裕子

乙 長野県松本市里山辺2930-1
松本市教育会
会長 山口 真一

令和6年度版松本市教職員研修計画について

1 趣旨

令和5年2月に策定した松本市教職員研修計画及び令和5年度に実施した研修の成果と検証に基づき、令和6年度の研修計画を更新いたしましたので、その内容について協議するものです。

2 経過

- R 3. 4 市が中核市に移行
- R 4. 4 松本市教育研修センターを教育政策課内に設置
- R 5. 2 松本市教職員研修計画を策定（基本方針の計画期間は令和8年度まで、年度毎の具体的計画は毎年度更新）
- R 6. 2 松本市教職員研修計画（令和6年度版）（案）を作成

3 令和6年度版の主な内容

- (1) 第Ⅲ章の年度毎の教職員研修の内容を、令和6年度実施の内容に更新しました。
【新たに追加した目玉となる研修】
 - (ア) 「探究の学び」を推進する教師のあり様を学ぶ研修
実践的探究ゼミ（5回シリーズ）
 - (イ) リーディングスクール実践校の取組に学ぶ研修
探究の学び、自由進度学習、低学年の学びの充実
 - (ウ) 育成期にある教員対象の研修
学級づくりワークショップ、探究の学び入門講座
 - (エ) インクルーシブな教育環境づくりにかかる研修
インクルーシブ研修（2回）、校長・特別支援教育コーディネーター合同研修
- (2) 第Ⅳ章の研修参加に係る諸手続きの04各種様式「研修講座の追加届」を削除しました。
- (3) 参考の長野県の教員育成指標の長野県教員育成指標について、県の指標の改訂に合わせて、資料を更新しました。

4 教職員研修計画（案）及び概要版 別添のとおり

5 今後の予定

- R 6. 3月中 印刷製本し、教職員へ配布（各校2部+データ配信）するとともに、市ホームページにも掲載
- 4～ 実施研修講座の参加受付開始、研修実施

担当 教育政策課 小西 えみ 教育研修センター センター長 大久保 和彦 電話 33-3980
--



松本市 教職員研修計画【令和6年度版】

松本市教育委員会教育研修センター



わたしたちは、「すべての子どもにやさしいまち」をめざします。

- 1 どの子どもいのちと健康が守られ、本来もっている生きる力を高めながら、社会の一員として成長できるまち
- 2 どの子ども愛され、大切に育まれ、認められ、家庭や学校、地域などで安心して生きることができるとできるまち
- 3 どの子ども松本の豊かな美しい自然と文化のなかで、のびのびと育つまち
- 4 どの子ども地域のつながりのなかで、遊び、学び、活動することができるまち
- 5 どの子ども自由に学び、そのための情報が得られ、支援が受けられ、自分の考えや意見を表現でき、尊重されるまち
- 6 どの子どもいろいろなことに挑戦し、たとえ失敗しても再挑戦できるまち

子どもの権利は、子どもが成長するために欠くことのできない大切なものです。

日本は、世界の国々と子どもの権利に関して条約を結び、子どもがあらゆる差別を受けることなく、子どもにとって最も良いことは何かを第一に考え、安心して生き、思いや願いが尊重されるなど、子どもにとって大切な権利を保障することを約束しています。

子どもは、生まれながらにして、一人の人間として尊重されるかけがえのない存在です。

子どもは、赤ちゃんのときから思いを表現し、生きる力をもっています。

子どもは、障がい、国籍、性別などにかかわらず、また、貧困、病気、不登校などどんな困難な状況にあっても、尊い存在として大切にされます。

子どもは、一人ひとりの違いを「自分らしさ」として認められ、虐待やいじめ、災害などから守られ、いのちを育み健やかに成長していくことができます。また子どもは、感じたこと、考えたことを自由に表現することができ、自分にかかわるさまざまな場に参加することができます。

子どもは、自分の権利が大切にされるなかで、他の人の権利も考え、自他のいのちを尊び、子どもどうし、子どもとおとなのいい人間関係をつくるようになります。

おとなは、子どもの思いを受け止め、子どもの声に耳を傾け、子どもの成長と向き合います。おとなは、それぞれの役割と責任を自覚しながら、お互いに力を合わせ、子どもの育ちを支援します。そして、おとなも、家庭や学校、地域などで子どもと共に歩むことができるよう支援されます。

松本には、四季折々の豊かで美しい自然と子どもの育ちを支える地域のつながりがあり、ふるさと松本を愛する人たちがいます。そんな松本で、子どもの権利を保障し、すべての子どもにやさしいまちづくりをめざして、日本国憲法及び児童の権利に関する条約（以下「子どもの権利条約など」といいます。）の理念をふまえ、ここに松本市子どもの権利に関する条例を制定します。

目次

はじめに 松本市教職員研修の全体像	1
----------------------	---

I 松本市の教職員研修の基本方針

01 願う教師像	2
02 教職員研修の目的	2
03 教職員研修の目標	2
04 松本市が独自に行う教職員研修の重点	3

II 松本市教職員研修の体系

III 令和6年度実施の教職員研修

01 令和6年度 実施研修講座一覧	5
02 令和6年度 実施研修講座の詳細	
A 基本研修	7
B 職務別研修	8
C 専門研修	12
D 課題別研修	25
E 特別研修	35
F 支援員等研修	40

IV 研修参加に係る諸手続き

01 松本市が独自で実施する研修	
(1) 研修参加申込（年度当初）	
(2) 追加募集（随時）	
(3) 欠席・早退・遅刻等	
02 長野県教育委員会と連携して実施する研修	
03 申し込み上の留意点	
04 各種様式	
【参考】長野県の教員育成指標	46
(1) 長野県の教職員として求められる資質能力	
(2) 教員のキャリアステージ	
(3) 長野県教員育成指標	

はじめに

世界的な気候変動や新たな感染症の出現で、私たちは予測困難な時代の到来を目の当たりにしています。新しい生活様式が模索される中で、情報化や技術革新は加速度的に進展し、社会は大きな転換期を迎えています。

令和4年2月に策定された松本市教育大綱では、変化の激しい時代を生きていくために意欲、計画性、粘り強さ、忍耐力、自制心、協調性、創造性、コミュニケーション力といった「生涯の学びを支える非認知的能力」が必要であるとした上で、それらを育むために大切にしていきたい学びの視点として

- ・一人ひとりの個性や能力を尊重した「多様性」を育む学び
- ・未来を切り拓き、新しい価値を生み出す「創造性」を育む学び
- ・自己や他者と対話しながら、社会に参画する「主体性」を育む学び

の3つを掲げています。

このような資質・能力を育んでいくためには、教職員には、これまでの「子ども観」や「授業・指導観」を振り返り、さらなる工夫・改善をしていくことに加えて、保護者や地域、関係機関などと連携・協働していくことを通じて、新たな「教師像」や「学校像」を描いていくことが求められています。

松本市は令和3年度より中核市に移行し、市の教育課題に即した独自の研修を主体的に構想・実施していくことが可能となりました。

令和4年8月31日に文部科学省より示された「公立の小学校等の校長および教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針」の中では、これからの時代に求められる教職員の学びの姿として、次のような位置づけがなされています。

新たな教員の学びの姿として求められているのは、一人一人の教員等が、自らの専門職性を高めていく営みであると自覚しながら、誇りを持って主体的に研修に打ち込むことである。教員等の資質の向上を図ることは、児童生徒等の教育を充実することに他ならない。児童生徒等の学びと教員等の学びは相似形となることが重要であり、個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じて、「主体的・対話的で深い学び」を実現することは、児童生徒等の学びのみならず、教員等の学びにもまた求められており、児童生徒等の学びのロールモデルとなることが期待される。

子どもたちがよりよい未来を主体的に実現していく資質・能力を育む学校教育を実現するためには、教職員自身の主体的に「学び続ける」姿勢が大切となることはいうまでもありません。そして、その実現のためには日々の教育実践における省察に加え、様々な研修の機会を通じて、「子ども観」、「授業・指導観」を問い直し、新たな「教師像」、「学校像」を描いていくことが求められています。そして、そのような教師の学びを実現する研修の工夫・実施も強く求められています。

以上の経緯を踏まえて、ここに「松本市教職員研修計画」を策定し、松本市の教職員研修を体系化し、教職員自身の多様性・創造性・主体性等の資質・能力をも一層の向上を図り、松本市教育大綱の基本理念である「子どもが主人公 学都松本のシンカ」や、第3次松本市教育振興基本計画が掲げる「学びに、遊びや体験を。生涯を通じた学びを保障する松本まるごと学都構想」の具体化を目指していきます。

なお、本計画は、第3次松本市教育振興基本計画の計画期間と合わせ、令和8年度までの基本方針を第1章と第2章で定め、これに基づく年度毎の具体的な取組みを第3章に定めています。

第3章は、PDCAを基に、年度ごとに更新するものとします。

松本市の教職員研修の全体像

松本市教育大綱

子どもが主人公
学都松本のシンカ

第3次松本市教育振興基本計画

学びに、遊びや体験を。

生涯を通じた学びを保障する
松本まるごと学都構想

分野2 教育

方針3 教職員研修の充実と働き方改革の推進

【施策の方向性】

- 中核市として教職員の研修権を有する松本市は、国の教育政策や県の施策の方向性を踏まえながら、研修の方法や内容を工夫した研修を独自に企画・実施し、教職員の育ちと学びを支援します。

子ども観・学び観・学校像・教師像を問い直し、深める教職員研修

※松本市の教職員研修は長野県総合教育センターの立地や研修効果を踏まえ、一部の研修を長野県と連携し実施します。松本市に勤務する県費負担教職員は、下記の1、2の双方の研修に参加することになります。

01 松本市が独自に実施する研修

- 職務別研修（職務遂行上、必要な資質・能力の向上を図る研修）
- 専門研修（教科等の指導力を高める研修）
- 課題別研修（多様な教育課題に対応する力を高める研修）
- 特別研修（教師としての見方・考え方を深める研修）
- 市費教職員研修（支援員、図書館事務職員、自立支援教員等研修）

02 松本市が長野県と連携し実施する研修

- 基本研修（初任者研修/ キャリアアップ研修等の法定研修）
- 職務別研修（事務・栄養職員研修/ 養護教諭研修/ 一部の管理職研修）
- 総合教育センターが開設する希望研修講座

「子どもが主人公」多様性・創造性・主体性を育む教師

I 松本市の教職員研修の基本方針

01 | 願う教師像

子どもの「すがた」と「学び」を問い続ける教師

- 子どもの尊厳と人権を尊重する教師
- 子どもの多様性・創造性・主体性を引き出す「学びの伴走者」としての教師
- 子どもとともに成長の喜びを感じ、仲間とともに学び続ける教師

02 | 教職員研修の目的

子ども・教師の育ちと学びを支える教職員研修

- 子どもの尊厳と人権を尊重しながら、子どもを主人公としていく松本市の教育の本質を追求し、参加者の子ども観の問い直しと深まりを目指します。
- 日々の実践や課題を持ち寄り対話することを通じて、参加者の主体性や関係性の問い直しと深まりを目指します。

03 | 教職員研修の目標

松本市独自の教職員研修の実施にあたっては、次の各目標に基づき、研修を行っていきます。

- 1 | キャリアステージに応じた研修と現代的な教育課題に対応した研修**
キャリアステージに応じた研修のほか、授業改善や、特別支援教育など、現代的な教育課題に対応した研修を実施していきます。
- 2 | 研修ニーズの把握と研修の柔軟な企画・立案**
市独自実施のメリットを生かし、教職員の研修ニーズを多様な方法によって把握し、柔軟に研修の企画・立案に反映させていきます。
- 3 | 多様な方法による研修と学びのコミュニティの形成**
講義型研修のほか、参加型ワークショップや参加者自身による研修企画の創出等、教職員が主体的に参加し、学びのコミュニティを形成できるよう、研修の実施形態を工夫していきます。
- 4 | 教職員の働き方を考慮した効果的な研修**
研修の方法・頻度・時間帯を工夫し教職員が参加しやすい効果的な研修を実施していきます。
- 5 | 指導主事等による学校訪問**
学校のニーズに応じて指導主事等による学校訪問を行い、校内研修の充実を図っていきます。
- 6 | 長野県教育委員会との連携**
研修は松本市での実施のほか長野県教育委員会実施の研修も取り入れていきます。また、研修の共同企画・開催等、県教育委員会との密接な連携を図ります。
(例：初任者研修/ キャリアアップ研修Ⅰ～Ⅲ/ 職務別研修 等)

04 | 松本市が独自に行う教職員研修の重点

松本市が独自に行う教職員研修では、これまで述べた通り「子ども観」「授業観・指導観」「教師像」「学校像」の4つの観点から実践を問い直し、教職員がそれぞれの「観・像」を深めていくことを重視しています。実際の研修の構想に当たっては、下記のように、各観点に関わる具体的な内容を重点的に扱っていきます。

(1)「子ども観」の問い直し

○ 多様な子どもの自分らしさを尊重した学びのあり方に関する研修

- ・ 子どもの見方、子ども理解を深めるために専門家から知見を学ぶ研修
- ・ インクルーシブな教室環境・授業づくりに関する研修
- ・ 子ども理解を深め、特別支援教育における学校全体の指導力・チーム力を高める研修
- ・ すべての子どものありようを受けとめ認め、はぐくむ子ども観を深める研修 等

(2)「授業観・指導観」の問い直し

○ すべての子どもの資質・能力を育む授業づくりのあり方に関する研修

- ・ 一人ひとりの人格を尊重し互いを認め合うインクルーシブな教育の推進に関する研修
- ・ SDGsとまつもと学（地域素材の教材化）の推進に関する研修
- ・ テーマ別授業づくり研修
主体的・対話的で深い学びの実現/ 個別最適な学びと協働的な学びの実現/ 子どもの「問い」を生かした授業づくり/ 非認知的能力を重視した授業づくり/ 教具・文具としてのICTを活用した授業づくり/ デジタル・シティズンシップ教育/ 「遊び」「体験」をベースに置いたカリキュラムづくり 等

(3)「教師像」の問い直し

○ 「学びの伴走者」としての教師のあり方に関する研修

- ・ 人権感覚を磨く研修
- ・ 先哲に学ぶ研修
- ・ 危機管理研修、学校における働き方改革に関する研修
- ・ ファシリテーションおよびコーチング研修 講師サポート研修 等

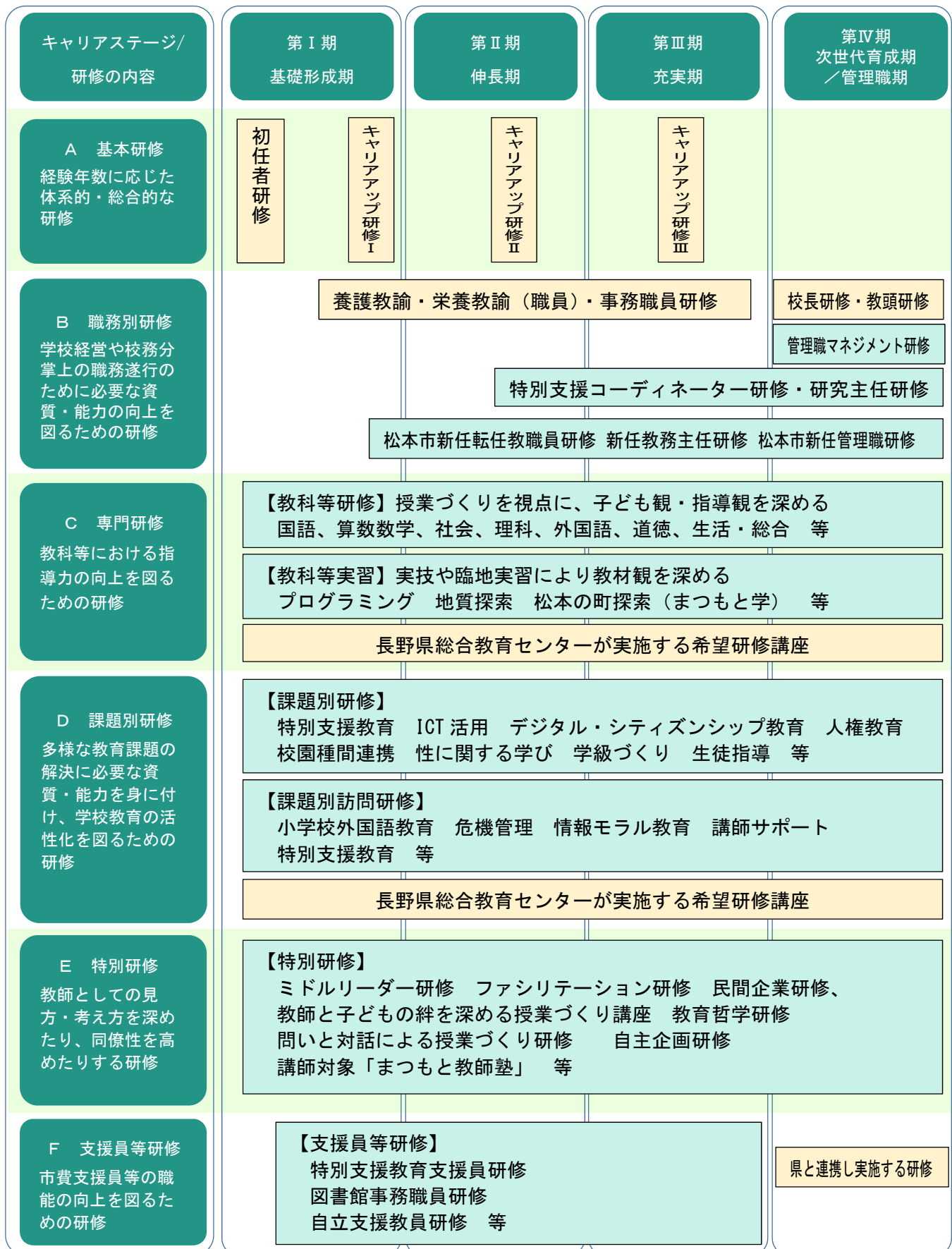
(4)「学校像」の問い直し

○ 子どもにとって魅力ある学校づくりとマネジメントのあり方に関する研修

- ・ 学校教育目標具現のための教育課程編成（カリキュラムマネジメント）に関する研修
- ・ 指導力・チーム力を高める校内研修・校内研究推進研修（主に教務主任・研究主任対象）
- ・ リーダーシップ・フォロアーズ研修（主に管理職対象）
- ・ ミドルリーダー研修（主に中堅教員対象）
- ・ 幼保小中連携のあり方に関する研修 等

Ⅱ 松本市教職員研修の体系

以上の松本市教職員研修の基本方針を踏まえ、松本市が実施する教職員研修を研修の領域（A～F）およびキャリアステージに基づいて、以下のように整理しました。



Ⅲ 令和6年度実施の教職員研修

01 | 令和6年度 実施講座一覧

●県教育委員会と連携実施する研修 ★…対象者を指定する研修（対象者全員参加）

研修領域	講座番号	重点	研修講座名	受講対象者	実施期日	詳細P
A 基本 研修	A01	①②	●小中学校教諭 初任者研修 1年次研修 15日	★市立小中学校に新規採用となった教諭	4月～1月	7
		①②③	●小中学校教諭 初任者研修 2年次研修 3日	★採用2年目の教諭	4月～1月	
		①②③	●キャリアアップ研修Ⅰ 4日	★採用5年目の教諭	5月～2月	
		①②③	●キャリアアップ研修Ⅱ 6日	★採用10年目の教諭	5月～2月	
		①～④	●キャリアアップ研修Ⅲ 3日	★採用20年目の教諭	5月～2月	
B 職務 別 研修		③④	●新任校長研修	★初めて校長に任用された者	4/17(水)	
		④	●新任教頭研修 2日	★初めて教頭に任用された者	5/30、6/3	
	B01	③④	松本市新任管理職研修	★松本市に新任、転任の管理職	4/5(金)	8
		④	●義務校長研修	★全ての校長	5/14(火)	
	B02	④	校長マネジメント研修	★全ての校長	5/23(木)	8
	B03	①～④	校長・特支コーディネーター合同研修	★各校の校長および特支コーディネーター1名	7/4(木)	9
	B04	③④	教頭マネジメント研修	★全ての教頭	5/13(月)	9
	B05	③④	新任教務主任研修	★初めて教務主任になった教員等	4/18(木)	10
	B06	①②	松本市新任転任教職員研修	★松本市に転任した教職員	4/11(木)	10
B07	①②	研究主任研修会 Ⅰ～Ⅲ	★各校の研究主任	5/14、8/20、 12/20	11	
B08	①②	特別支援教育コーディネーター研修 Ⅰ Ⅱ	★特別支援教育コーディネーター	6/24、11/18	11	
C 専門 研修	授 業 づ く り	C01	①② 小学校国語授業づくりセミナー Ⅰ～Ⅲ	小（中）学校教員（希望者）	9/13、10/18、 11/15	12
		C02	①② 小学校社会科授業づくりセミナー Ⅰ～Ⅲ	小（中）学校教員（希望者）	6/27、7/18、 9/26	13
		C03	①② 算数数学授業づくりセミナー Ⅰ～Ⅲ	小中学校教員（希望者）	5/2、9/17、 12/3	14
		C04	①② 理科授業づくりセミナー Ⅰ～Ⅲ	小中学校教員（希望者）	6/14、7/11、 10/1	15
		C05	①② 対話を生かした道徳の授業づくり	★各校の道徳主任等（未受講者）	6/21(金)	16
		C06	①② 「探究の学び」入門講座	小中学校教員（希望者）	5/9(木)	17
		C07	①②③ 風越学園岩瀬直樹先生と学ぶ「探究ゼミ」Ⅰ～Ⅴ	小中学校教員（希望者）	4/23、6/24、 8/1、10/10、 12/6	18
		C08	①② 体育授業づくり研修	小中学校教員（希望者）	7/31(水)	19
		C09	①② 実践校に学ぶ 「単元内自由進度学習」	小中学校教員（希望者）	6/25(火)	19
		C10	①② 実践校に学ぶ 「低学年期の学びの充実」	小中学校教員（希望者）	5/31(金)	20
		C11	①② 実践校に学ぶ 「探究の学びを支援する教師の研修」	小中学校教員（希望者）	5/28(火)	20
実 習 等	C21	② 上高地フィールドワーク	小中学校教員（希望者）	5/29(水)	21	
	C22	② 美ヶ原フィールドワーク	小中学校教員（希望者）	5/16(木)	21	
	C23	② まつもと学研修 Ⅰ～Ⅲ	小中学校教員（希望者）	5/24、6/28、 10/25	22	
	C24	①② 一人一台端末を活用した授業づくり（基礎編）	小中学校教員（希望者）	7/11(木)	23	
	C25	①② 一人一台端末を活用した授業づくり（応用編）	小中学校教員（希望者）	12/17(火)	23	
	C26	①② ICT活用 小学校プログラミング学習実習基礎	小中学校教員（希望者）	5/17(金)	24	

研修領域	講座番号	重点	研修講座名	受講対象者	実施期日	詳細P
D 課題別 研修	D01	①③	不登校児童生徒の理解と支援	★生徒指導・不登校担当教員	5/10(金)	25
	D02	①③	特別支援教育研修Ⅰ 障がいの理解と合理的配慮	小中学校教員（希望者）	7/29(月)	25
	D03	①②	特別支援教育研修Ⅱ 障がいの理解と支援「教えて！本田先生」	小中学校教員（希望者）	9/5(木)	26
	D04	①②	特別支援教育研修Ⅲ 生活単元学習の授業づくり	★小中学校知障学級担当教員	10/22(火)	26
	D05	①③	インクルーシブ研修Ⅰ（理論編）「学びにくさを抱える子どもの理解」	小中学校教員（希望者）	6/5(水)	27
	D06	①③	インクルーシブ研修Ⅱ（実践編）「学びにくさを抱える子どもの支援」	小中学校教員（希望者）	7/8(月)	27
	D07	①③	情報モラル指導者研修	小中学校教員（希望者）	10/31(木)	28
	D08	①②	デジタル・シティズンシップ教育研修	★情報・生徒指導担当教員※	10/3(木)	28
	D09	①④	「性に関する学び」教頭研修	★教頭	5/10(金)	29
	D10	③④	カリキュラムマネジメント研修Ⅰ～Ⅲ	★小中学校教務主任等 1名	5/24, 10/8 12/19	30
D 課題別 訪問 研修	D21	①②	【訪問型】特別支援教育研修	小中学校教員（希望校）	学校の希望日	31
	D22	①②	【訪問型】デジタル・シティズンシップ研修	小中学校教員（希望校）	10/4(金)	31
	D23	①②	【訪問型】接遇・対応力向上研修	小中学校教員（希望校）	学校の希望日	32
	D24	①②	【訪問型】講師サポート研修	小中学校臨時任用教員（希望者）	学校の希望日	32
	D25	①②	【訪問型】外国語授業づくり研修	小学校教員（希望校）	学校の希望日	33
	D26	①③	【訪問型】ICT端末活用研修	小中学校教員（希望校）	学校の希望日	33
	D27	①③	【訪問型】生徒指導研修	小中学校教員（希望校）	学校の希望日	34
	D28	①③	【訪問型】不登校児童生徒の理解と支援（スクリーニング会議の活用）	小中学校教員（希望校）	学校の希望日	34
E 特別 研修	E01	①～④	松本市全教職員研修 「結 まつもと学びの日」	★小中学校全教職員	7/25(木)	35
	E02	①③	教育哲学研修「『子どもが主人公』の哲学」	小中学校教員（希望者）	10/29(火)	36
	E03	②③	達人に学ぶ！「子どもが主人公」の学級づくりワークショップ	小中学校教員（希望者）	4/30(火)	36
	E04	①②	【訪問型】教師と子どもの絆を深める授業づくり研修	小中学校教員（希望校）	指定日	37
	E05	②③	ファシリテーション力向上研修	小中学校教員（希望者）	5/13(月)	37
	E06	③④	ワークショップ型 ミドルリーダー研修Ⅰ～Ⅳ	小中学校教員（希望者）	6/6, 9/19, 10/24, 11/18	38
	E07	①②	まつもと講師塾Ⅰ～Ⅲ	小中学校臨時任用教員（希望者）	4/15, 6/17 9/20	39
F 等支 援 修 員	F01	①③	市費教職員新規採用者合同研修会	★松本市市費新規採用教職員	4/3(水)	40
	F02	①③	自立支援教員研修会Ⅰ～Ⅲ	★市費自立支援教員	4/22, 9/24 1/27	40
	F03	①	特別支援教育支援員研修	★特別支援教育支援教員	6/25(火)	41

重点	内容
①子ども観	多様な子どもの自分らしさを尊重した学びのあり方に関する研修
②授業観・指導観	すべての子どもの資質・能力を育む授業づくりのあり方に関する研修
③教師像	学びの伴走者としての教師のあり方に関する研修
④学校像	子どもにとって魅力ある学校づくりとマネジメントのあり方に関する研修

★…対象者を指定した必修研修
※ 原則として終了は終業時刻です

A 基本研修 経験年数に応じた体系的・総合的な研修

講座番号	A01-1	日時	5/21 (火) 14:00~	会場	教育文化センター
研修の種類	指定研修	対象者	初任者★	ライフステージ	I
期待される学び	①子ども観の問い直し	育成指標	E⑦教材研究 ⑧指導方法		
	②授業観・指導観の問い直し		E⑩個への指導⑪集団における指導		
講座名	ようこそ！初任者の先生方① 松本市実施初任者研修Ⅰ				参加申込は不要です
講座の概要	<p>◆初めて正規教員になった先生方、「どうやって子どもに接したらいいか、授業はどう進めていったらいいか」など不安が大きいことでしょう。同じ立場の初任の先生方とともに、「松本市が目指す教育」「教師としてのコンプライアンス」「特別支援教育とインクルーシブな教育環境」などについて学んだり、お互い情報交換したりしながら、教師としてのあり方について見通しと自信を持ちつつ、相談できる「仲間づくり」をしましょう！</p> <p>【主な内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教育長講話（松本市の教育が目指すもの） 2 コンプライアンス研修（非違行為防止・コンプライアンス意識の向上） 3 特別支援教育研修（特別支援教育とインクルーシブな教育環境） 4 グループ協議（現状についての情報交換：指導主事がアドバイザー） 				

講座番号	A01-2	日時	1/14 (火) 14:00~	会場	教育文化センター
研修の種類	指定研修	対象者	初任者★	ライフステージ	I
期待される学び	①子ども観の問い直し	育成指標	E⑦教材研究 ⑧指導方法		
	②授業観・指導観の問い直し		E⑩個への指導⑪集団における指導		
講座名	2年目に向けて！初任者の先生方② 松本市実施初任者研修Ⅱ				参加申込は不要です
講座の概要	<p>◆「授業の進め方が少しわかってきたが、まだ不安だな」など初任の先生方も少しずつ自信をもちつつも、困り感や課題意識も感じることも多いことでしょう。同じ立場の初任の先生方とともに、「教師として目指す姿」や「生徒指導対応」について学んだり、同じ教科や同じ学年の先生方と教材研究・授業づくり・学級経営などについて語り合ったりしながら、2年目に向けて自分の目標と心構えをつくりましょう！</p> <p>【主な内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教育センター長講話（目指す教師の姿、授業観・子ども観） 2 生徒指導研修（指導主事によるロールプレイ研修） 3 グループ別協議Ⅰ（教科・学年別研修：教科等研究推進教員等がアドバイザー） 4 グループ別協議Ⅱ（学級経営・生徒指導研修：自分の成長や課題を語り合う：教科等研究推進教員等がアドバイザー） 				

※キャリアアップ研修および上記以外の初任者研修等、松本市が長野県教育委員会と連携して実施する研修については、長野県教育委員会から示される要項等を参照してください。

B 職務別研修

学校経営や校務分掌上の職務遂行のために必要な資質・能力の向上を図るための研修

講座番号	B01	日時	4/5（金）14：30～	会場	教育文化センター
研修の種類	指定研修	対象者	新転任校長・教頭★	ライフステージ	IV
期待される学び	③教師像の問い直し	育成指標	D④チームマネジメント		
	④学校像の問い直し		D⑥カリキュラムマネジメント		
講座名	松本市のスクールリーダー 初めの一步				参加申込は不要です
	松本市新任管理職研修				
講座の概要	<p>◆松本市に管理職として初めて赴任する校長先生・教頭先生が一堂に会し、松本市の教育理念や教育システムについて理解を深め、また、疑問点や課題等を協議することを通して、松本市のスクールリーダーとしての自覚と意欲を高め、年度当初の学校運営を進める見通しを持てるようになることを目指します。</p> <p>【主な内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教育長講話（松本市の教育の目指すもの） 2 教育監講話・演習（非違行為防止・コンプライアンス意識の向上） 3 松本市の教育運営システムの理解（①校務支援システム ②教職員研修 ③ICTシステム管理 等） 4 協議・情報交換 				

講座番号	B02	日時	5/23（木）9：00～	会場	教育文化センター
研修の種類	指定研修	対象者	校長★	ライフステージ	IV
期待される学び	④学校像の問い直し	育成指標	D④チームマネジメント		
			D⑥カリキュラムマネジメント		
講座名	学校を元気にするリーダーシップを学ぶ				参加申込は不要です
	校長マネジメント研修				
講座の概要	<p>◆「評価から始めるカリキュラムマネジメント」や「コーチングのマインドを基盤とした学校のチームづくり」をそれぞれの第一人者の講師から学んだり、講義を踏まえて実践したいことを校長同士で協議したりすることを通して、学校を元気にするマネジメントのあり方への知見を深め、実践への意欲を深めます。</p> <p>※カリキュラムマネジメントについては、ミドルリーダー向け研修でも同様の内容を実施し、管理職とミドルが同じまなざしで取り組む学校づくりの実践化を図ります。</p> <p>【主な内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 講義と演習（オンライン） 「『評価』から始めるカリキュラムマネジメント」（村川雅弘教授） 2 講義と演習「コーチングの基本と学校マネジメント」（北村勝朗教授） 3 参加者による協議「学校マネジメント実践の手応えと課題」 				

講座番号	B03	日時	7/4 (木) 15:00～	会場	勤労者福祉センター
研修の種類	指定研修	対象者	校長・特支コ★	ライフステージ	Ⅲ・Ⅳ
期待される 学び	①子ども観②授業観・指導観		育成指標	B 確かな人権意識と共感力	
	③教師像 ④学校像の問い直し			D 目標実現に向け、柔軟に対応する力	
講座名	インクルーシブ教育システムの構築のために必要なこと 校長・特別支援教育コーディネーター合同研修				
講座の概要	<p>◆令和6年度は「松本市インクルーシブ教育システム構築推進元年」です！事始めとして、推進の要となる校長先生（管理職）と特別支援教育コーディネーターが同時に受講する画期的な研修を企画しました！信州大学の庄司和史先生による講義と、新設された松本市インクルーシブセンター所属の推進専門員からのセンター概要紹介を通して、松本市のインクルーシブ教育をどのように推進していくか考えます。</p> <p>【主な内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 インクルーシブ教育基本の「キ」についての講義（信州大学 庄司和史先生） 2 松本市インクルーシブセンターについて概要説明（インクルーシブ教育推進専門員による） 				

講座番号	B04	日時	5/13 (月) 9:00～	会場	教育文化センター
研修の種類	指定研修	対象者	教頭★	ライフステージ	Ⅳ
期待される 学び	③教師像の問い直し		育成指標	D④チームマネジメント	
	④学校像の問い直し			D⑥カリキュラムマネジメント	
講座名	やる気と元気を引き出す！管理職のリーダーシップ 教頭マネジメント研修				
講座の概要	<p>◆組織を活性化し学校を元気にする「ファシリテーションのマインドセットとスキル」についての理解と実践力を深めるとともに、信州大学の荒井英治郎先生のお話や演習により「学校の働き方改革」を実現するために「組織で動く」具体の方略について学び、今年度の学校づくりに向けた意欲と実践力を高め合います。</p> <p>【主な内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教頭先生方に願うこと・協議事項 2 「ファシリテーション力向上研修」（株式会社ひとまち ちょんせいこ代表） 3 「組織で動く学校の働き方改革」の講義と演習 (信州大学 荒井英治郎准教授) 4 参加者による協議（学校マネジメントの実践上の成果と課題） 				

講座番号	B05	日時	4/18 (木) 15:00~	会場	教育文化センター
研修の種類	指定・希望研修	対象者	新任教務主任★	ライフステージ	Ⅲ
期待される学び	③教師像の問い直し		育成指標	D④チームマネジメント	
	④学校像の問い直し			D⑥カリキュラムマネジメント	
講座名	どうする？ 新任教務主任 新任教務主任研修				
講座の概要	<p>◆初めて教務主任になった先生方、これまでとは少し違った立場で、具体的に何をすればいいか、どう動いたらいいか、不安が大きいことでしょう。</p> <p>同じ立場の先生方とともに、「心得」や「職務内容」を学んだり、互いに情報交換したりしながら、教務主任業務の見通しを持ちつつ、相談できる「仲間づくり」をしましょう！（新任ではない教務主任さんも参加OKです！）</p> <p>【主な内容】 講師：信州大学教職支援センター 荒井英治郎 准教授</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 松本市の学校教育で目指すもの（教育監講話） 2 教務主任に期待される役割（信州大学荒井英治郎准教授 講義と演習） 3 協議・情報交換 				

講座番号	B06	日時	4/11 (木) 15:30~	会場	あがたの森文化会館講堂
研修の種類	指定研修	対象者	松本に赴任した教職員★（初任者も含む）	ライフステージ	Ⅰ～Ⅳ
期待される学び	①子ども観の問い直し		育成指標	A 高い倫理観と使命感及び確かな子ども理解	
	②授業観・指導観の問い直し			E「教育のプロ」としての高度な知識と技能	
講座名	ようこそ松本へ！「子どもが主人公」の教育 松本市新任転任教職員研修				
講座の概要	<p>◆初めて松本に来た、数年ぶりに松本に戻ってきた先生方、ようこそ松本へ！「松本の教育って何か特徴があるのかな、以前と変わった所はあるのかな」等、期待と不安を持ち赴任したことでしょう。松本市では令和4年2月に松本市教育大綱が制定されました。この教育大綱を受け、松本市が大切にしている「子どもが主人公」という理念に触れ、松本市の教職員としての自覚と使命を確認し、明日からの教育実践への意欲を高める機会にしましょう！</p> <p>対象：松本市に新任または転任の教諭・講師・事務職員・養護教諭・養護助教諭 （F01「市費教職員新規採用者合同研修会」に出席する市費教職員は除く）</p> <p>【主な内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教育長講話（松本市の教育が目指すもの） 2 教育監講話（松本市が願う教師像・非違行為防止） 3 教育センター長講話（教員の研修意欲向上） 4 感想のシェア（近くの方と本日の感想・松本で実践したい教育等を語る） 				

講座番号		期日	時間	会場	
第1回	B07-1	5/14 (火)	14:00～	勤労者福祉センター	
第2回	B07-2	8/20 (火)	14:00～	教育文化センター	
第3回	B07-3	12/20 (金)	14:00～	勤労者福祉センター	
研修の種類	指定研修	対象者	研究主任★	ライフステージ	Ⅲ
期待される学び	①子ども観の問い直し		育成指標	D⑥カリキュラムマネジメント	
	②授業観・指導観の問い直し			E⑧指導方法	
講座名	シンカを続ける松本の授業！ 研究主任研修会Ⅰ～Ⅲ				
講座の概要	<p>◆「学校づくりのミドルリーダーとして、どのように研究を推進するか」「授業改善をさらに一歩進めるために、研究主任としてどのように動いたらよいか」など、研究主任としての自己課題を持っていらっしゃると思います。講師のお話を聴いたり、同じ立場の先生方と実践の成果や悩みを語り合ったりすることを通して、研究主任としての実践力を高め、研究主任同士のつながりを持っていきましょう。</p> <p>【主な内容】 3回シリーズの講座です。研究主任としての実践力とつながり意識を高めます。</p> <p>第1回「校内研究で職員室が変わる！～子どもの学びと教師の学びは相似形～」 講師：東京都小平市教員 村上聡恵 先生（元 軽井沢風越学園スタッフ）</p> <p>第2回「不易と流行の垣根を越えて～学びの中のICT～」 講師：信州大学 佐藤和紀 准教授</p> <p>第3回「学校づくりのミドルリーダーとして3学期に取組みたいこと」</p>				

講座番号		期日	時間	会場	
第1回	B08-1	6/24 (月)	15:00～	勤労者福祉センター	
第2回	B08-2	11/18 (月)			
研修の種類	指定研修	対象者	特支コ★ 各校1名	ライフステージ	Ⅰ～Ⅲ
期待される学び	①子ども観の問い直し		育成指標	E⑧指導方法	
	②授業観・指導観の問い直し			E⑬インクルーシブな教育	
講座名	特支コのお仕事お助け講座 特別支援教育コーディネーター研修ⅠⅡ（兼 特支コ連絡会）				
講座の概要	<p>◆「検査を支援に生かしたい！」「特支コの役割って何」等について、他校の実践や演習を通して学びます。</p> <p>【主な内容】 6月 「ASA 旭出式社会適応スキル検査」の検査方法について 講師：宮内かつら先生（長野県発達障がい情報・支援センター 副センター長） 講義に加え、実際の検査用紙を用いて演習を行う</p> <p>11月 「他校の特支コの実践から学ぶ」 講師：松本市内の特別支援教育コーディネーター（小中 各1名）</p>				

C 専門研修

教科等における指導力の向上を図るための研修

講座番号		期日	時間	会場	
第1回	C01-1	9/13 (金)	15:30~	教育文化センター	
第2回	C01-2	10/18 (金)			
第3回	C01-3	11/15 (金)			
研修の種類	希望研修	対象者	小(中)学校の教員	ライフステージ	I~III
期待される学び	①子ども観の問い直し		育成指標	E⑦教材研究	
	②授業観・指導観の問い直し			E⑧指導方法	
講座名	松本大学上月先生と学ぶ国語授業づくりの基礎基本 小学校国語授業づくりセミナー I~III				
講座の概要	<p>◆松本大学の上月康弘先生の講義と演習を通して、小学校国語の授業づくりの基礎・基本を学ぶ大好評のシリーズ研修です！参加者の先生方と一緒に教材をじっくり読み、いろんな考えを交換することで、教材の見方が何段階も深まります。「教材研究の仕方がわかりました！」「参加するたびに新たな発見がありわくわくしました！」（昨年の参加者の感想より）</p> <p>国語の授業をもっとよくしたい！という願いをもつ先生方、ぜひ一緒に国語の楽しさを体験しましょう！（1回、2回のみ参加もOKです）</p> <p>【主な内容】 講師：松本大学教育学部 上月康弘 専任講師</p> <p>3回シリーズの講座です。各回とも講師の講義・演習と参加者による協議により、教材研究のあり方、授業づくりのポイント等を学びます。</p> <p>第1回 「ごんぎつね」 第2回 「ちいちゃんのかげおくり」 第3回 「やまなし」</p> <p style="text-align: right;">※扱う教材は変更の可能性があります。</p>				

講座番号		期日	時間	会場	
第1回	C02-1	6/27(木)	15:30~	教育文化センター	
第2回	C02-2	7/18(木)			
第3回	C02-3	9/26(木)			
研修の種類	希望研修	対象者	小(中)学校の教員	ライフステージ	I~III
期待される学び	①子ども観の問い直し		育成指標	E⑦教材研究	
	②授業観・指導観の問い直し			E⑧指導方法	
講座名	主体的・対話的で深い学びをつくり出す小学校社会科授業 小学校社会科授業づくりセミナー I~III				
講座の概要	<p>◆「子どもが主人公となる社会科の授業を实践したい」と願う先生方、今年度より松本大学教育学部秋田真先生と学ぶ小学校の社会科授業づくり講座が新設されました。子どもたちが学びたいという意欲をもち、知的好奇心を満たしていく授業とは…そして、周囲の仲間たちと関わり合いながら学びを深める小学校社会科授業はどのようなものなのかなど、主体的・対話的で深い学びを視点とした授業の見直しポイントや、授業づくりの考え方を学ぶことができる研修です。(1回、2回のみ参加もOKです)</p> <p>【主な内容】 講師：松本大学教育学部 秋田 真 教授</p> <p>3回シリーズの講座です。講師の講義・演習と参加者による協議により、教材研究のあり方、授業づくりのポイント等を学びます。</p> <p>第1回 児童の主体的な学びを意識した授業づくり 第2回 児童の対話的で深い学びを意識した授業づくり 第3回 獲得した知識を転移・応用させる単元構成と授業づくり</p>				

講座番号		期日	時間	会場	
第1回	C03-1	5/2 (木)	14:20~	開智小学校	
第2回	C03-2	9/17 (火)	15:30~	教育文化センター	
第3回	C03-3	12/3 (火)	14:20~	芝沢小学校	
研修の種類	希望研修	対象者	小中学校教員	ライフステージ	I~III
期待される学び	①子ども観の問い直し		育成指標	E⑦教材研究	
	②授業観・指導観の問い直し			E⑧指導方法	
講座名	佐藤茂太郎先生と「明日の算数数学の授業」を語り合う会 算数数学授業づくりセミナーI~III				
講座の概要	<p>◆「今回の算数の研修3回がとても楽しくやってみよう！と思える内容でした」「算数が苦手と思っている私も3回の研修はわかりやすく楽しかったです」「授業を実際に見せて頂いたことがとても参考になりました」…昨年度、本研修に参加された先生方の声です。</p> <p>松本大学の佐藤茂太郎先生や参加者と一緒に算数数学の授業づくりについて語り合い考えてみませんか。第3弾となる今年度は「子どもの姿から学ぶ」をコンセプトに、第1回と第3回は、実際の授業の子どもの姿から、算数数学の指導について語り合います。</p> <p>算数数学の指導に苦手意識をもつ先生方も、もっと楽しい算数数学の授業をやりたい先生方も大歓迎です！（第1回のみ、第2回のみ、第3回のみ参加もOKです。）</p> <p>【主な内容】 講師：松本大学教育学部 佐藤茂太郎 准教授</p> <p>3回シリーズの講座です。第1回は開智小で、第3回は芝沢小で授業を参観し、子どもの姿から算数の授業づくりについて学び合います。第2回は、佐藤茂太郎先生の講義・演習と参加者による協議により、算数数学の授業づくりのポイント等を学び合います。</p> <p>第1回「1けたでわるわり算の筆算の授業の参観（4年生：予定）と授業を語る会」 ：開智小学校</p> <p>第2回「かけ算やわり算に関する学習指導について～子どもが困っているところに焦点を当てて～」（予定）：教育文化センター</p> <p>第3回「割合の授業の参観（5年生：予定）と授業を語る会」：芝沢小学校</p>				

講座番号		期日	時間	会場	
第1回	C04-1	6/14 (金)	9:00~16:00	四賀化石館他 四賀地区	
第2回	C04-2	7/11 (木)	15:00~	アルプス公園周辺	
第3回	C04-3	10/1 (火)	15:00~	教育文化センター	
研修の種類	希望研修	対象者	小中学校教員	ライフステージ	I~III
期待される学び	①子ども観の問い直し		育成指標	E⑦教材研究	
	②授業観・指導観の問い直し			E⑧指導方法	
講座名	松本の地域素材を存分に生かして授業をつくろう! 理科授業づくりセミナー I~III				
講座の概要	<p>◆松本ならではの地域素材を活かして授業づくりをしてみませんか。地域素材の魅力に直接触れ、どのように活用していくか、授業を展開していくかを互いの悩みや実践を語り合いながら学びましょう。理科授業の力量を高めたい先生方、地域素材の活用の仕方を学びたいと願う全ての先生にオススメです。(1回、2回のみ参加もOKです。)</p> <p>【主な内容】 講師：教育文化センター科学博物館長・指導主事 他</p> <p>第1回「世界最古に出会える博物館や露頭で授業づくり」</p> <p>四賀化石館見学、四賀地区の露頭(豆岩、穴沢のクジラ化石、保福寺川での化石など)の観察を含む実習・講義を行い、授業での活用方法を考えます。小学校6年、中学1年の理科の地層・化石の分野の教材研究にピッタリです。9:00に四賀化石館に自家用車で集合し、市のバスで四賀地区内を移動します。野外での学習を考えている学校の先生方もぜひご参加ください。</p> <p>※定員 20名 昼食必要</p> <p>第2回「松本市内の火山灰を現地調査・観察して、教材化を考えよう」</p> <p>アルプス公園周辺の火山灰を現地でわんがけをしてルーペ、デジタル顕微鏡・タブレットにより観察する実習・講義を行います。現地には「城山タフ」と呼ばれる「クリスタルアッシュ(結晶質火山灰)」を含む層があり、石英や黒雲母がよく観察できます。松本周辺でみられる火山灰についても紹介します。15:00にアルプス公園第3駐車場に集合して、徒歩で移動します。※学習用タブレット必要 ※こちらで採取できる「城山タフ」は、教文探究パックでもテイクアウト可能です。</p> <p>第3回「野外学習におけるICT活用」</p> <p>ICTを活用した実験観察場面や対話的な学びを促すICT利用について協議・講師による講義を行います。特に、野外学習でのタブレット端末の活用について実際に体験しながら学びます。 ※学習用タブレット必要</p> <p>【留意事項】フィールドでの研修が中心ですので、フィールドワークの支度が必要です。記録用端末(デジカメ・スマホ・タブレット)があるとより充実します。詳細については、参加者決定後に別途通知します。</p>				

講座番号	C05	日時	6/21 (金) 15:00~	会場	教育文化センター	
研修の種類	指定研修	対象者	各学校1名★※ 未受講の方に限定		ライフステージ	I~III
期待される 学び	①子ども観の問い直し		育成指標	B 確かな人権意識と共感力		
	②授業観・指導観の問い直し			E⑦教材研究⑧指導方法⑨学習評価		
講座名	やってみよう！対話を生かした道徳の授業 対話を生かした道徳の授業づくり					
講座の概要	<p>◆「すぐ道徳の授業の準備をしたくなるくらいワクワクしました」「お話を聴いて、道徳っておもしろいなと思いました。道徳の授業が楽しみになりました」…。昨年度、本研修に参加された先生方の感想です。講師の荒木寿友先生は「対話を生かした道徳の授業づくり」の第一人者。先生のお話や演習を通して、対話を生かした道徳のイメージを深めたり、参加者の先生方と互いの考えや課題を語り合ったりしながら、「子どもが主人公」となる道徳の授業づくりを目指します。</p> <p>【主な内容】 講師：立命館大学 荒木寿友 教授</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 講義と演習「対話を生かした道徳の授業づくり」 グループ協議を含む 2 講師によるまとめとリフレクション <p>※初めて受講する先生方対象です。2名以上参加希望の場合は、ご相談ください。また、当日参加できないが荒木先生の講義の聴講を希望される場合は、オンラインにて配信します。申込の備考欄に「オンライン参加」と記入。</p>					

講座番号	C06	日時	5/9 (木) 15:00~	会場	教育文化センター
研修の種類	希望研修	対象者	小中学校教員	ライフステージ	I~III
期待される 学び	①子ども観の問い直し		育成指標	E⑭探究の学び	
	②授業観・指導観の問い直し			C②地域をフィールドとした学びづくり	
講座名	さあ、「探究の学び」を始めよう 畔上先生と学ぶ「探究の学び」入門講座				
講座の概要	<p>◆予測不能な未来社会のなかで、自分の人生を拓きウェルビーイングを実現していくために、必要な「問いを立て、粘り強く考え、他者と協働しながら表現・行動していく」力。この力を育むためには「探究的な学び」の実践が不可欠とされています。しかし、多くの先生方にとっては、自らが体験していないこの学びについて、実践の上で不安が多いのではないのでしょうか。</p> <p>このように、総合・生活で「探究的な学び」に取り組みたいと思いつつも、始め方や子どもの学びのイメージがもう一つつかめず悩みを抱えている先生！探究の学びの先達者、畔上一康先生の導きのもと、探究の学びの魅力や、基本的な進め方、子どもの学びの見方を知り、探究の学びの実践に向けて踏み出しませんか？</p> <p>「探究の学び」で目指す力、その具体的な姿について認識を深めるとともに、「探究の学び」を引き出す教師の支援のあり方についての知見を得、ご自身の実践への意欲を高めていただくことを目指す講座です。</p> <p>【主な内容】講師：畔上一康先生（信州大学教育学部特任教授）</p> <p>1 講師による講義と演習 「探究の学び」とは？ 育まれる力 探究の学びの必要性 具体的な子どもの姿 「探究の学び」を引き出す教師とは？ 教師の関わりのあり方 実践事例の紹介 等</p> <p>2 参加者による協議</p>				

講座番号		期日	時間	会場	
第1回	C07	4/23 (火)	13:45~	教育文化センター 他	
第2回		6/24 (月)			
第3回		8/1 (木)			
第4回		10/10 (木)			
第5回		12/6 (金)			
研修の種類	希望研修	対象者	「探究的な学び」を深く学びたい教員	ライフステージ	全
期待される学び	①子ども観 ②授業観・指導観 ③教師像の問い直し		育成指標	E⑭探究の学び C②地域をフィールドとした学びづくり	
講座名	風越学園岩瀬先生と創る「探究」を拓く教師の学び 実践的「探究の学び」ゼミⅠ～Ⅴ				
講座の概要	<p>◆総合的な学習の時間や生活科で求められる「探究的な学び」。子どもたちの非認知能力を含む資質・能力を高める上で欠かせない学びである一方、こうすればいい、というマニュアルはなく、先生方が手探りで取り組まれています。</p> <p>今回「子ども主体の学び」づくりに取組まれている軽井沢風越学園の岩瀬直樹校長先生を講師に迎え「探究の学びゼミ」を開講します。</p> <p>岩瀬先生の導きのもと、参加者の先生方が実践を持ち寄り、ともに展開を考えたり子どもの姿の「意味」を考えたりすることを通して手がかりをつかむ、それを実践に活かしてまた持ち寄る…そんな協働の学びを通して、「探究の学び」を拓く教師としての手応えを実感していただくことを目指します。また、先生自身が「探究」の楽しさを経験したり、「探究の学び」を学校で広げるための校内研修について考え合ったりといったことにも挑戦します。</p> <p>経験の多少は問いません。同じ志をもった仲間と、「探究的な学び」について、語り合い学び合いませんか。先生方の実践力の向上と学び合いのコミュニティづくりを目指し、挑戦的な講座です。</p> <p>※5回すべての受講をお願いします。</p> <p>【主な内容】 講師 岩瀬直樹先生（軽井沢風越学園校長）</p> <p>年間5回の講座とその間のミーティングを通して、継続に学び、実践に活かすことを目指します。講座では以下のような内容に取組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「探究の学び」について知る：なぜ必要か 何が生まれるのか ・「探究の学び」を教師自身が体験する：問いをたて、情報収集し、考えをまとめる ・「探究の学び」の実践を持ち寄る：展開をともに考える 子どもの学びを評価する ・「探究の学び」の実践に触れる：風越学園の「探究の学び」を参観する ・「探究の学び」を学校に広げる：仲間をつくる校内研修を構想する 				

講座番号	C08	日時	7/31(水) 9:00~12:00	会場	松本市総合体育館 サブアリーナ
研修の種類	希望研修	対象者	小中学校教員	ライフステージ	I~III
期待される 学び	①子ども観の問い直し ②授業観・指導観の問い直し	育成指標	E⑦教材研究 E⑧指導方法		
講座名	実は、奥がふか〜い、体育授業！！ 体育授業づくり研修				
講座の概要	<p>◆「サッカーって難しすぎ！」「バスケットってドリブルできないよ」。このような難しさも、ルールや用具をちょっとかえるだけで、ゴール型球技の楽しさを味わうことができます。新しいスポーツの体験を通じて、授業づくりに生かしませんか！体育科教員のみならず、体育を専門としない小学校教員も対象としています。「体育が苦手」な先生にも、是非参加してほしい講座です！</p> <p>【講師】松本大学教育学部 准教授 濱田敦志 先生 小学校教諭として体育科教育の実践研究を推進してきた研究者。「主体的・対話的で深い学びをつくる！教師と子どものための体育の『教科書』（低学年・中学年・高学年）」など著書多数。講座以外にも、体育授業の改善を望む小学校教員を対象として、授業支援など学校連携も可能です！</p> <p>【主な内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 前半（講義） ゴール型球技の特性を理解しよう（90分） 後半（実習） ゴール型球技の特性を体験して授業に生かそう（90分） <p>【持ち物】 運動ができる服装・タオル・飲み物 等</p>				

講座番号	C09	日時	6/25(火)午後	会場	松本市立寿小学校
研修の種類	希望研修	対象者	小中学校教員	ライフステージ	I~IV
期待される 学び	①子ども観の問い直し ②授業観・指導観の問い直し	育成指標	E⑧指導方法 E⑦教材研究		
講座名	さあ、やってみよう！単元内自由進度学習 実践校に学ぶ「単元内自由進度学習」				
講座の概要	<p>◆令和5年度の「松本市リーディングスクール事業」指定校として「単元内自由進度学習」に取り組んできた寿小学校。本研修は、参加された先生方に実際の授業を参観いただいた後、ガイダンスや学習カード、学習環境づくりのポイント・留意点などを授業者に質問し、「単元内自由進度学習」実践のヒントを得られる講座です。</p> <p>【主な内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 単元内自由進度学習の授業参観 R5年度の実践の振り返りや具体的な子どもの姿について 自由進度学習を進めていく上でのポイント 今後に向けての課題と展望 参加者からの質疑応答・意見交換 				

講座番号	C10	日時	5/31(金)午後	会場	明善小学校
研修の種類	希望研修	対象者	小中学校教員	ライフステージ	I～III
期待される 学び	①子ども観の問い直し		育成指標	E⑧指導方法	
	②授業観・指導観の問い直し			E⑬インクルーシブな教育	
講座名	子どもたちのやりたい！を実現する「わくわくする生活科」 実践校に学ぶ「低学年期の学びの充実」				
講座の概要	<p>◆「子どもたちのやりたい！に応えたい。でも応え方がわからない…子どもに任せきれない…」1.2年生の授業づくりにお悩みの方におススメ！素敵な作品掲示も必見です。</p> <p>園小接続期の1年生、幼児期最終章の2年生の授業改善に取り組んできた明善小学校から、子どもが記す「学びノート」の活用や子どもの興味関心から発信する授業等について明善小学校の実践から学びます。</p> <p>【主な内容】</p> <p>講師：中島 亜起子先生（明善小学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践校に学ぶ（明善小学校の授業を参観させていただきます） ・明善小学校の実践と子どもの姿 ・参加者の情報共有 ・質疑応答 等 				

講座番号	C11	日時	5/28(火)午後	会場	丸ノ内中学校
研修の種類	希望研修	対象者	小中学校教員	ライフステージ	I～III
期待される 学び	①子ども観の問い直し		育成指標	E⑧指導方法	
	②授業観・指導観の問い直し			E⑭探究の学び	
講座名	実感！探究の学びのよさ 実践校に学ぶ「探究の学びを支援する教師の研修」				
講座の概要	<p>◆「探究の学びを具体的にどう支援していったらよいか」等の課題意識を持った先生方が、いきいきと探究の学びを進める子どもの姿を参観したり実践報告を聞いたりすることを通して、校内研修のあり方を学びましょう。また、参観者と実践校のミドルリーダーを交えて、悩みを語り合ったり、実践への見通しを持ったりしましょう。全校での学びの改革のうねりを創り出した校内研修を、実践的に学ぶことができます。</p> <p>【主な内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業参観（主体的に探究する生徒の姿に学ぶ） 2 実践発表（校内研修企画側のエピソードを丸ノ内中ミドルリーダーから聞いたり、実践校の校内研修をワークショップ的に体感したりします（予定）） 3 協議・情報交換 				

講座番号	C21	日時	5/29(水)8:00～16:00	会場	上高地
研修の種類	希望研修	対象者	小中学校教員	ライフステージ	I～III
期待される学び	②授業観・指導観の問い直し		育成指標	C②地域をフィールドにした学びづくり	
				E⑦教材研究	
講座名	現地で見ても、聞いて、触って教材化！みんな大好き上高地 上高地フィールドワーク				
講座の概要	<p>◆上高地でのフィールドワークを通して地域素材・火山防災を学ぶ実習です。昨年度は河童橋～明神池のコースで実施し、「現地で実物を見ながらの学びは格別！」「実験で断層のでき方がよくわかるので、授業に取り入れたい！」など大好評の講座でした！松本に初めて赴任した先生や上高地学習を計画している学校の先生、上高地や地域素材を教材化してみたい先生方、新緑の上高地と一緒に学びましょう！</p> <p>【主な内容】 講師：教育文化センター科学博物館長・指導主事 他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松本市波田支所にて集合・解散。市のバスで上高地を往復します。 ・大正池～河童橋ルートの約5.2kmの道のりを歩くフィールドワーク <p>「世界一新しい花崗岩ってどういうこと？」「焼岳火山はどんな歴史があって今はどんな状況？これからどうなる？」「上高地の動植物とは？」他</p> <p>【留意事項】 定員20名。少雨決行。フィールドワークの支度が必要です。詳細については参加者決定後に別途通知します。各校の下見を兼ねることはできません。</p>				

講座番号	C22	日時	5/16(木)8:00～16:00	会場	美ヶ原高原
研修の種類	希望研修	対象者	小中学校教員	ライフステージ	I～III
期待される学び	②授業観・指導観の問い直し		育成指標	C②地域をフィールドにした学びづくり	
				E⑦教材研究	
講座名	小5の先生必見！現地で見ても、聞いて、触って教材化！美ヶ原へGo！ 美ヶ原フィールドワーク				
講座の概要	<p>◆美ヶ原でのフィールドワークを通して美ヶ原の地質・動植物などの自然やペース配分など安全な山登りの心得について学ぶ実習です。ダケ河原コースの登山道を実際に歩いて登ります。松本に初めて赴任した先生や、美ヶ原高原学習を計画している学校の先生、美ヶ原や地域素材を教材化してみたい先生方、新緑の美ヶ原と一緒に学びましょう！</p> <p>【主な内容】 講師：信州松本山岳ガイド協会やまたみの山岳ガイド 教育文化センター科学博物館長・指導主事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育文化センターから市のバスで⇒少年自然の家→ダケ河原コース→王ヶ頭→王ヶ鼻→長野県美ヶ原自然保護センター⇒市のバスで教育文化センターへという約5.5kmの道のりを歩くコースを予定しています。 <p>「美ヶ原ってどうやってできた？」「鉄平石って何？」「美ヶ原の動植物とは？」他</p> <p>【留意事項】 定員20名。少雨決行。フィールドワークの支度が必要です。詳細については参加者決定後に別途通知します。各校の下見を兼ねることはできません。</p>				

講座番号		期日	時間	会場	
第1回	C23-1	5/24(金)	15:00～	松本城本丸庭園	
第2回	C23-2	6/28(金)	14:30～	松本市立博物館と周辺市街地	
第3回	C23-3	10/25(金)	14:30～	平瀬城趾	
研修の種類	希望研修	対象者	小中学校教員	ライフステージ	I～III
期待される学び	②授業観・指導観の問い直し		育成指標	C②地域をフィールドにした学びづくり	
				E⑦教材研究	
講座名	見て歩いて知る！「松本城」と松本のまち&山城 まつもと学研修 I～III				
講座の概要	<p>◆「松本城はどうして国宝なんだろう？」「城下町の名残って市内のどこにあるの？」など、松本の街のシンボル「松本城」と城下町についての疑問を、専門家と一緒に歩くフィールドワーク等、体験的な学びを通して解き明かしましょう。</p> <p>事前に視点を定めてから見学することで、児童生徒の気づきや、その後の授業展開も大きく変わってきます。さらに市内各所に点在する山城の見方を知ること、学区内の様々な文化財の教材化についても学べる講座です。</p> <p>【主な内容】</p> <p>第1回「国宝松本城に上ろう」講師：文化財課 小山淳一先生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本丸庭園のひみつ ～太鼓門の名前の由来はなんだろう～ ・松本城天守のひみつ ～どうやって400年間守られてきたの～ ・月見櫓のひみつ ～戦のためのお城でどうして月見をするの～ 等 <p>第2回「松本の城下町のひみつ」講師：文化財課 小山淳一先生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リニューアルした市立博物館で当時の城下町の様子を知る ・講師の解説をお聞きしながら、実際に城下町を散策 <p>第3回「武田氏との戦いと平瀬城」講師：山辺教育支援センター 上條直利先生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の解説をお聞きしながら、曲輪や竪堀を見学 ・学区内の文化財の教材化についての意見交換 <p>【持ち物】</p> <p>小6 社会科副読本「わたしたちの松本城」(持参可能な方)</p>				

講座番号	C24	日時	7/11(木)15:15～	会場	教育文化センター	
研修の種類	希望研修	対象者	小中学校教員		ライフステージ	I～IV
期待される学び	①子ども観の問い直し		育成指標	E⑧指導方法		
	②授業観・指導観の問い直し			E⑫ICT活用		
講座名	きほんの「き」から始めるICT端末操作 ICT活用 一人一台端末を活用した授業づくり（基礎編）					
講座の概要	<p>◆「端末を文具のように使うには?」「クラスルームを使って資料を配布したい」など、授業でのICT端末活用の一歩を進めたい先生方におすすめの講座です。</p> <p>ICT端末内のアプリにあまり触れたことのない先生を対象に、アプリに関する基本的な操作を「ゼロ」から順を追って知ることができます。ICT支援員の方々も一緒にフォローしますので、操作に不慣れな方にも安心してご参加いただけます。先生が授業でお使いの端末を持参して、準備の手順や授業の展開に沿って実際に端末の操作に挑戦してみましょう!先生方からの質問にもお答えします!</p> <p>【主な内容】</p> <p>① ICT端末活用の基礎（児童編）・アプリの良さを体感する。</p> <p>② ICT端末活用の基礎（教員編）・①の操作方法を知る。 例) Google Classroom (メッセージ送信、資料配布、質問) Google Forms (アンケート作成・小テスト作成) Google ドライブの活用や印刷方法など</p> <p>③ お悩み解決タイム</p> <p>【持ち物】・教師が使っている学習用タブレット (iPad または Windows 機) ・教師用アカウント情報</p>					

講座番号	C25	日時	12/17(火)15:00～	会場	教育文化センター 第1研修室	
研修の種類	希望研修	対象者	小中学校教員		ライフステージ	I～III
期待される学び	①子ども観の問い直し		育成指標	E⑦教材研究		
	②授業観・指導観の問い直し			E⑫ICT活用		
講座名	タブレット端末活用で探究のシンカ ICT活用 一人一台端末を活用した授業づくり（応用編）					
講座の概要	<p>◆「他校の実践からさまざまな活用を知りたい」「探究的な学びや個別最適な学びのためにタブレットを活用したい」等、毎日の授業でのタブレット活用をさらにシンカさせたい先生方におすすめの講座です。</p> <p>参加される先生方の実践発表に加えて、端末活用検討委員会の実践発表を参観することで松本市のICT環境で実施可能な様々な実践にふれ、協議を通してさらなる活用についての考えを深めることができます。</p> <p>【主な内容】</p> <p>1 授業等におけるICT活用のポイント</p> <p>2 松本市のICT環境をいかした実践の紹介</p> <p>3 松本市のICT環境をいかした授業の進め方についての討議</p> <p>【持ち物】 学習用タブレット (iPad または Windows 機)、教師用アカウントの情報</p>					

講座番号	C26	日時	5/17(金) 15:00～	会場	教育文化センター 第1研修室
研修の種類	希望研修	対象者	小中学校教員	ライフステージ	I～III
期待される 学び	①子ども観の問い直し		育成指標	E⑦教材研究	
	②授業観・指導観の問い直し			E⑫ICT活用	
講座名	これでできる！小5算数・小6理科のプログラミング授業 ICT活用 プログラミング学習実習基礎				
講座の概要	<p>◆「プログラミングで多角形の作図ってどうするの?」「センサーを使った電気の有効利用って?」など、小学校高学年で必修のプログラミング教育(A分類)の授業に不安のある先生方におすすめの講座です。実際の授業の展開に沿ってタブレット端末で演習します。同時にプログラミングの活動を通してどのような力を育むのかを知ること、自信を持って授業を進められるようになります。5年算数の教材の紹介はもちろん、6年理科で使える、簡単にプログラミングできるコンピューターボードの貸出も可能です。</p> <p>【主な内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教科のねらいとプログラミング教育の位置づけについて 講師：指導主事 2 プログラミング授業の準備と進め方の演習 講師：指導主事 3 貸出可能なプログラミング教材の紹介 講師：指導主事 <p>【持ち物】 学習用タブレット(Windows機)、小5算数・小6理科の教科書</p>				

D 課題別研修 多様な教育課題の解決に必要な資質・能力を身につけ、学校教育の活性化を図るための研修

講座番号	D01	日時	5/10(金) 13:30～	会場	M ウイング大会議室 3-2
研修の種類	指定研修	対象者	各校1名★	ライフステージ	I～III
期待される学び	①子ども観の問い直し	育成指標	E⑩個への指導		
	③教師像の問い直し		E⑪集団における指導		
講座名	全ての子どもを支える教師の関わり ～不登校児童生徒の理解と支援～				
講座の概要	<p>◆不登校の背景は、多様で複雑なために、どのように支援したらよいのだろうかという悩みはつきません。本講座では、複雑な要因を認知行動療法という科学的な視点から紐解き、教師の関りを理解し、各校で実践することを目指します。係の先生だけでなく、不登校児童生徒への支援に関わる全ての先生におすすめです！ 昨年度も開催した人気講座です。</p> <p>【講師】 信州大学学術研究院教育学系 准教授 高橋 史 先生</p> <p>児童生徒のメンタルヘルスの問題を認知行動療法の視点から支援する日本を代表する研究者・実践家。高橋先生の講義は具体的でわかりやすいと定評があります。</p> <p>【主な内容】 以下について、講義と実際の対応を学びます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 不登校児童生徒の心身の状態の理解と支援 2 不登校のリスクのある児童生徒への対応 3 不登校の状態にある児童生徒への対応 <p>※原則として初めて受講する先生が対象。2名以上参加希望の場合は相談ください。</p>				

講座番号	D02	日時	7/29 (月) 10:00～15:30	会場	なんぶくプラザ3階 大会議室
研修の種類	希望研修	対象者	小中学校教員	ライフステージ	I～III
期待される学び	①子ども観の問い直し	育成指標	E⑩個への指導		
	③教師像の問い直し		E⑬インクルーシブな教育		
講座名	理解すること(講義)・感じること(疑似体験)から ～ 特別支援教育研修Ⅰ 障がいの理解と合理的配慮 ～				
講座の概要	<p>◆「発達に特性がある児童生徒への対応はどうしたらよいの？」と日々悩んでいる先生方！かとうメンタルクリニックの樋端佑樹先生による講義をじっくりお聞きする午前の部と、ななこネットの先生方による学びにくさがある子の疑似体験を通して、困り感に寄り添う午後の部による毎年恒例の研修会。じっくり学び、体験して、困っているお子さんへの必要な支援について考えます。</p> <p>【主な内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 午前：子ども理解と保護者支援についての講義 (かとうメンタルクリニック 樋端佑樹先生) 2 午後：疑似体験 (松本圏域特別支援学校専門サポートチームによる) 				

講座番号	D03	日時	9/5 (木) 15:00～	会場	勤労者福祉センター
研修の種類	希望研修	対象者	小中学校教員	ライフステージ	I～III
期待される学び	①子ども観の問い直し ②授業観・指導観の問い直し	育成指標	E ⑩個への指導 E ⑬インクルーシブな教育		
講座名	教えて！本田先生！！ Vol 5 ～ 特別支援教育研修Ⅱ 障害の理解と支援 ～				
講座の概要	<p>◆発達障がいの子どもに対する理解や支援についての基本的な事柄を学ぶ、本田先生シリーズ待望の第5弾！受講者の質問に本田先生が答えてくださいます。司会の宮内かつら先生との温かいやり取りも必見です。</p> <p>【主な内容】 講師：本田 秀夫 先生（信州大学医学部 子どものこころの発達医学教室教授） ファシリテーター：宮内かつら 先生（長野県発達障がい情報・支援センター副センター長） 参加者からの質問に、本田先生に答えていただく形式です</p> <ol style="list-style-type: none"> 参加者から事前に寄せられた質問に対し、本田先生にお答えいただく。 質疑応答 （参加者は事前アンケートにお答えいただきます）				

講座番号	D04	日時	10/22 (火) 15:00～	会場	勤労者福祉センター
研修の種類	指定研修	対象者	知障学級担任★ 各校1名以上	ライフステージ	I～III
期待される学び	①子ども観の問い直し ②授業観・指導観の問い直し	育成指標	E ⑧指導方法 E ⑬インクルーシブな教育		
講座名	みんなどうしてる？ 生活単元学習 ～ 特別支援教育研修Ⅲ 生活単元学習の授業づくり ～				
講座の概要	<p>◆「生活単元学習って何をすればいいかわからない」「いつも同じ活動ばかりでマンネリ気味…」そんな先生方のお役に立つこと間違いなし！です。</p> <p>知障学級の教室環境や教材のアイデアを写真を使ってグループで共有します。さらに講師の先生から年間計画の立て方や単元の組み立て方についてお話しいただきます。</p> <p>【主な内容】 講師：ななこネット（中信地区特別支援学校7校の教育相談担当者）</p> <ul style="list-style-type: none"> グループワーク（撮影した写真を使って生活単元学習のアイデアを共有） 全体講義（「生活単元学習の位置づけ」「年間計画の立て方」「単元構成の仕方」等生活単元学習の基本的な事柄について、松本圏域特別支援学校専門サポートチームからお話しいただく） （参加者は、事前にタブレットで教室環境や教材、活動の様子等を撮影する）				

講座番号	D05	日時	6/5 (水) 15:30~	会場	なんぶくプラザ3F 大会議室
研修の種類	希望研修	対象者	小中学校教員	ライフステージ	I~IV
期待される 学び	①子ども親の問い直し		育成指標	E⑩個への指導	
	③教師像の問い直し			E⑬インクルーシブな教育	
講座名	「クラスで気になるあの子」を知ろう！ インクルーシブ研修Ⅰ（理論編）「学びにくさを抱える子どもの理解」				
講座の概要	<p>◆特別支援教育？インクルーシブ教育？必要なのはわかるけど専門用語ばかりで敷居が高い…そう感じている先生方。本研修では、誰にでもわかる言葉でわかりやすく説明します！本研修でこれまでの固定観念を一掃し、「インクルーシブ研修Ⅱ」にも参加していただくとさらに効果的です！</p> <p>【主な内容】 講師：指導主事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 障がいの理解「障がいて何ですか？」 2 合理的配慮について「なぜ必要？」「提供しないとどうなる？」 3 インクルーシブ研修Ⅱに向けて 				

講座番号	D06	日時	7/8 (月) 15:30~	会場	なんぶくプラザ3F 大会議室
研修の種類	希望研修	対象者	小中学校教員	ライフステージ	I~IV
期待される 学び	①子ども親の問い直し		育成指標	E⑩個への指導	
	③教師像の問い直し			E⑬インクルーシブな教育	
講座名	「クラスで気になるあの子」と学ぼう！ インクルーシブ研修Ⅱ（実践編）「学びにくさを抱える子どもの支援」				
講座の概要	<p>◆「障がいとは何か」「合理的配慮の必要性」はわかるけれども、具体的にどう支援していったらいいの？そんな思いを抱いた先生方のための講座です。小、中の実践事例から「ヒント」を持ち帰り、明日からの生活や授業で行う具体的な支援に繋げることで、学びにくさを抱える子どもたちに笑顔が増えるはず！「インクルーシブ研修Ⅰ」を受講していただいた上で本研修にご参加いただくとさらに効果倍増です！</p> <p>【主な内容】 講師：指導主事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「障がいとは何か」「合理的配慮の必要性」の確認 2 小学校における実践事例の紹介 3 中学校における実践事例の紹介 4 具体的な支援構築に向けて 				

講座番号	D 07	日時	10/31(木)15：30～	会場	教育文化センター	
研修の種類	希望研修	対象者	小中学校教員		ライフステージ	I～III
期待される学び	①子ども親の問い直し		育成指標	E⑧指導方法		
	③教師像の問い直し			E⑫ICT活用		
講座名	明日から実践できる情報モラル教育の授業づくり 情報モラル指導者研修					
講座の概要	<p>◆全ての教員に情報モラル教育についての指導が求められているものの、その指導内容は多岐にわたり、「何をどのようにしたらよいかかわからない」という先生方の声が全国的に聞かれます。本研修では、県内の児童生徒の実態を捉えながら情報モラル教育の必要性を考えます。そして、活用型情報モラル教材「GIGA ワークブック信州」を体験することを通して、デジタル・シティズンシップ教育の視点から「善き社会の担い手」を目指すための授業づくりのポイントを研修する講座です。</p> <p>【主な内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学習指導要領にある「情報活用能力（情報モラル教育を含む）」について知る。 2 子どもたちのネットトラブルの実情と仕組み、その背景の基礎を知る。 3 それに向けての対応、対策、手段を知り、または考え、共有する。 4 上記を基に、目の前の子どもたちに何をどのようにすればいいのか、「GIGA ワークブック信州」を活用しながら具体的な授業・指導方法を考え、授業・支援を行えるようにする。 					

講座番号	D08	日時	10/3（木）13：00～	会場	教育文化センター	
研修の種類	指定研修	対象者	小中学校教員 各学校1名★※		ライフステージ	II III
期待される学び	①子ども親の問い直し		育成指標	E ⑩個への指導 ⑪集団における指導		
	②授業観・指導観の問い直し			E ⑫ I C T 活用		
講座名	デジタル時代を主体的に生きる市民性を育む デジタル・シティズンシップ教育研修					
講座の概要	<p>◆生活に不可欠なデジタル機器およびデジタルメディアを積極的に活用しながら、自己及び他者の人権を尊重し、よりよい社会関係を築いていく「デジタル・シティズンシップ」という概念が急速に注目されています。「注意喚起」の意味合いが強い「情報モラル教育」から一歩進んだ市民性教育の概念を基礎から学びます。</p> <p>★各校1名の参加をお願いします。（初めて参加する方に限ります。）</p> <p>【主な内容】 講師：鳥取県デジタル・シティズンシップ・エドューケーター 今度珠美氏</p> <p>○講義と演習を通して、以下のような内容を学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル・シティズンシップの概念を具体的な実践事例を通して理解する。 ・各学校における「情報モラル・リテラシー教育」のあり方を見返し、「人権教育」「道徳」をも含んだ「市民性教育」について理解を深め実践への意欲を高める。 <p>※未受講の方が受講ください。</p> <p>各校1名の指定者以外の方も今度先生の講義をオンラインで受講できます。申し込み時、備考欄に「オンライン参加」とご記入ください。</p>					

講座番号	D09	日時	5/10 (金) 14:00~	会場	教育文化センター
研修の種類	指定研修	対象者	教頭★		ライフステージ IV
期待される 学び	①子ども観の問い直し		育成指標	D⑥カリキュラムマネジメント	
	④学校像の問い直し			E⑩個への指導 ⑪集団における指導	
講座名	自分らしく「性」を生きる力を育む学びを創る 「性に関する学び」教頭研修				参加申込は不要です
講座の概要	<p>◆ジェンダーに係る悩みや偏見・差別、性被害の防止等、「性」を取り巻く課題がこれまでになく深刻な状況の中、子どもたちにそれぞれの発達段階に応じた「性」に関わる学びを計画的に実施していくことが必要です。まずは、実践のリーダーである教頭先生が最前線で活動する助産師さんのお話を聴き、その認識を深めることを目指します。</p> <p>(5月教頭会の中で90分の研修を実施予定)</p> <p>【主な内容】講師：石井美恵子 助産師</p> <p>○講義と演習を通して、以下のような内容を学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の「性」を深く理解し、自他の身体と命を大切にし、よりよい「性」を生きていく力を育てるキャリア教育としての「性に関する学び」の概念を理解する。 ・具体的な指導事例等を学び、自校の実践計画への見通しをもつ。 				

講座番号	期日		時間	会場	
D10	5/24 (金) 10/8 (火) 12/19 (木)		14:00~	教育文化センター	
研修の種類	指定研修	対象者	教務主任等各校1名 ★	ライフステージ	Ⅲ Ⅳ
期待される 学び	③教師像の問い直し		育成指標	D④チームマネジメント	
	④学校像の問い直し			D⑥カリキュラムマネジメント	
講座名	仲間を巻き込み学校づくりに挑戦！ カリキュラムマネジメント研修Ⅰ～Ⅲ				
講座の概要	<p>◆「3回出席したからこそ、少しずつ今の学校での実践を経て、自分の自信につながっていると思いました」「同年代のがんばっている仲間がいるということがこの先に励みになります」「3回の研修で、先生方と意見を交わすことができたおかげで今後も他校の様子や実践を気楽にお話できそうな関係づくりもできました」…。昨年度本研修に3回参加された先生方の感想です。</p> <p>「管理職と一緒に自校の学校づくりに参画したい」と思っておられる先生方、この機会に実践に向け、一歩踏み出してみませんか。集まった仲間とともに、村川雅弘先生や田村知子先生の講義から「学校の取組の改善につなげる方策」「取組の成果を踏まえ新たな目標を共有する方策」等の知見を学び、取組の方向や課題、成果等を語り合ったりしながら、学校づくりの方向を管理職や同僚の先生方と協議し考え合い、一歩前進する取組み(＝カリキュラムマネジメント)を実践していきましょう。</p> <p>講義と実践のセットにより、各校での具体的な実践を通して、参加者に「組織を動かす」知見と経験を積み上げることを目指す「実践講座」です。</p> <p>※3回シリーズの講座です。3回すべてに出席いただきます。</p> <p>【主な内容】 講師：甲南女子大学 村川雅弘 教授 大阪教育大学 田村知子 教授</p> <p>第1回：講師によるオンライン講義と演習(甲南女子大学 村川雅弘教授) 参加者によるグループ協議(実践の交流、悩みの相談等)。</p> <p>○第1回研修後、1学期の振り返りをもとにしたカリキュラムマネジメントを管理職と相談しながら実践(「小さな一歩の実践」としてまとめる)。</p> <p>第2回：講師によるオンライン講義と演習(大阪教育大学 田村知子教授) 参加者によるグループ協議(「小さな一歩の実践」の交流、悩みの相談等)</p> <p>○第2回研修後、管理職と相談しながら「小さな一歩の実践」をもとに、さらなるカリキュラムマネジメントを実践(「二歩目の実践」としてまとめる)</p> <p>第3回：講師によるオンライン講義と演習(大阪教育大学 田村知子教授) 参加者同士やグループ代表による「二歩目の実践」の発表と質疑。その後講師からまとめの助言</p>				

講座番号	D21	日時	各校の希望日時	会場	各学校
研修の種類	訪問型研修	対象者	小中学校教員	ライフステージ	I～IV
期待される学び	①子ども観の問い直し ②授業観・指導観の問い直し	育成指標	D⑥カリキュラムマネジメント E⑬インクルーシブな教育		
講座名	インクルーシブな教育環境づくりへの学校力を高める 【訪問型】特別支援教育研修				別途にて参加申込
講座の概要	<p>◆「一人一人の個性や能力を尊重した、だれ一人取り残すことのない教育実践」はどの学校においても喫緊の課題です。本研修では特別支援学校の教育相談の先生等が、年間複数回学校を訪問し、子どもの様子を踏まえたコンサルテーションや、全職員への研修を実施することで、学校の全教職員の子ども観、子どもをとらえる力の変容を促し、学校全体の教育力の向上を目指します。</p> <p>※7校限定。後日お届けする申込書によりお申し込みください。</p> <p>【主な内容】 講師：特別支援学校 教育相談担当教諭 県発達障がい情報・支援センター 副センター長</p> <p>○高い専門性をもった講師の先生が継続的に学校を訪問し職員とともに子どもに寄り添った支援のあり方等について考え、それを学校全体で共有することで学校全体のインクルーシブ環境づくりの実践力を高めます。</p> <p>・全学級の授業参観と各担任等との懇談 ・全校職員への研修 等</p>				

講座番号	D22	日時	10/4 (金)	会場	各学校
研修の種類	訪問型研修	対象者	小中学校教員	ライフステージ	I～IV
期待される学び	①子ども観の問い直し ②授業観・指導観の問い直し	育成指標	E⑩個への指導 ⑪集団における指導 E⑫ICT活用		
講座名	デジタル・シティズンシップ教育を学校現場で学ぶ 訪問型デジタル・シティズンシップ教育研修				別途にて参加申込
講座の概要	<p>◆デジタル・シティズンシップ教育への注目が高まる中、実際に、講師の先生を学校に迎え、示範授業、授業参観、先生向けの講話等を通して、どのような授業をとおして、どのような子どもの姿を目指すのかを実感いただく機会を作りました。</p> <p>デジタル機器およびデジタルメディアを積極的に活用しながら、自己及び他者の人権を尊重し、よりよい社会関係を築いていく「デジタル・シティズンシップ」の概念とイメージを、子どもの姿を通して全教職員で共有できる、貴重な機会です。</p> <p>※他校の先生も、奮ってご参加ください。</p> <p>【主な内容】 講師：鳥取県デジタル・シティズンシップ・エドゥケーター 今度珠美氏</p> <p>○講師の学校訪問により以下のような取り組みを実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該校の先生による授業実践（講師による授業参観と講評） ・講師による授業実践 ・教職員向けの講演 等 <p>※日程、内容は実施校との協議の上決定します。</p>				

講座番号	D23	日時	各校の希望日時	会場	各学校	
研修の種類	訪問型研修	対象者	小中学校教員		ライフステージ	I～IV
期待される 学び	①子ども観の問い直し		育成指標	D⑤危機管理		
	②授業観・指導観の問い直し					
講座名	外部対応が上手なあの先生の秘密って何だろう？					別途にて参加申込
<p style="text-align: center;">【訪問型】 接遇・対応力向上研修</p>						
講座の概要	<p>◆予期せぬ外部からの問い合わせへの応答の仕方によって、その後の学校の信頼が大きく左右されることがあります。同じ職場の先生方とともに、信頼を得られる教師対応について研修しましょう。電話への応答場面の他にも直接対面する場面等、学校の希望に応じた研修も可能です！</p> <p>【主な内容】（時間は40分から60分 短時間研修が可能です！）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 この電話対応どうすればいい？（グループ討議） 2 自分ならこう対応するな（個人追究） 3 ロールプレイで試してみよう（グループ討議） 4 保護者の信頼を得るために考えなくてはいけないこと（指導主事） 					

講座番号	D24	日時	各校の希望日時	会場	各学校	
研修の種類	訪問型研修	対象者	講師		ライフステージ	I
期待される 学び	①子ども観の問い直し		育成指標	E⑦教材研究⑧指導方法		
	②授業観・指導観の問い直し			E⑩個への指導⑪集団における指導		
講座名	講師の皆さんの悩みに応えます！					別途にて参加申込
<p style="text-align: center;">～学習指導・生徒指導・学級運営の基本～</p> <p style="text-align: center;">【訪問型】 講師サポート研修</p>						
講座の概要	<p>◆初任研等、体系的な研修を受ける機会が少ない講師の先生。もちろん、同僚の先生方がサポートをしてくれるのですが、忙しそうに先生方に遠慮して、十分に相談できずに悩みを抱えている方もいるかもしれません。そこで、講師の皆さんの状況を踏まえ、指導主事が学校に行き、「こんな授業をつくりたい」という思いが実現できるようにアドバイスをしたり、学級運営・生徒指導のポイントを支援したりします。また、この研修は年間通じて、本人の状況に合わせて継続して支援を行います。</p> <p>【主な内容】</p> <p>○年間通じて、学校を訪問して支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業参観を踏まえての、授業の基本についての助言 ・学級参観を踏まえての、学級運営・生徒指導についての助言 					

講座番号	D 25	日時	各校の希望日時	会場	各学校	
研修の種類	訪問型研修	対象者	小中学校教員	ライフステージ	Ⅰ～Ⅲ	
期待される学び	①子ども観の問い直し		育成指標	E ⑦教材研究		
	②授業観・指導観の問い直し			E ⑧指導方法		
講座名	教師も子どももハハ！ 楽しい外国語の授業づくり					別途にて参加申込
講座の概要	<p>◆小学校3・4年の外国語活動、5・6年の外国語の授業で悩んでいる方はいませんか？ALTがせっかく来たのに、どのように連携すればいいか悩んでいる先生はいませんか？研修を希望する先生方が、ALT派遣会社が作成した研修メニューから受けたいものを選択し受講できる研修を、今年も実施します！ぜひ、この機会に小学校外国語の授業力を高めてみませんか。</p> <p>【主な内容】</p> <p>○希望者が研修メニューから1つ選択し受ける、年1回の訪問型研修です。</p> <p><研修メニュー例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアワークやグループアクティビティのコツ ・ICTを使った児童に人気のアクティビティ ・ALTとのスモールトーク実践トレーニング 					

講座番号	D 26	日時	7月～11月	会場	各学校	
研修の種類	訪問型研修	対象者	小中学校教員	ライフステージ	Ⅰ～Ⅳ	
期待される学び	①子ども観の問い直し		育成指標	E ⑧指導方法		
	③教師像の問い直し			E ⑫ICT 活用		
講座名	先生にとって個別最適なICT端末操作研修！					別途にて参加申込
講座の概要	<p>◆学習指導要領のポイント（情報活用能力やICT活用）やGIGAスクール構想のねらいを知り、子どもが生きる近未来で求められる資質・能力やその育成を図る操作方法について学びたい、と考えている先生はいませんか？本講座では、複数の問題解決型グループの中から先生方の希望により受講できるため、先生方のニーズに沿った個別最適な学びが可能になり、一人一人の操作レベルの向上が期待できます！ICT支援員の方々も一緒にフォローしますので、操作に不慣れな方にも安心してご参加いただけます。</p> <p>【実施メニュー例】</p> <p>（前半）学習指導要領のポイント（情報活用能力やICT活用）やGIGAスクール構想のねらいを理解する（30～40分）</p> <p>（後半）複数の問題解決型グループの中から、先生方が希望するグループで操作を学ぶ。（45～60分）</p> <p>（例）Aグループ：クラスルームの運用 Bグループ：学習ドリルの活用 Cグループ：同時共同編集の学習方法 Dグループ：お悩みなんでも解決 Eグループ：ICT端末活用資料の使い方・他校の取組のご紹介</p>					

講座番号	D27	日時	6月～12月	会場	各学校
研修の種類	訪問型研修	対象者	小中学校教員	ライフステージ	IⅡ
期待される学び	①子ども観の問い直し	育成指標	E⑩個への指導		
	③教師像の問い直し		E⑪集団における指導		
講座名	実践事例で学ぶ子ども理解 【訪問型】一生徒指導研修一				別途にて参加申込
講座の概要	<p>◆「す～っぱい梅を思い浮かべてください」というと、急に、口の中に唾がジーンと染み出る経験をしたことはありませんか？ この例のように、言葉には人に与える効果があります。「ありがとう」と言われれば「ホッ」としますし、言葉のチョイスによっては、子どもをイライラさせ、落胆させ、不安にさせることもあります。様々な対応を学び合う校内研修として、本講座を是非ご活用ください。</p> <p>【主な内容】（人数：3名以上 時間：40分程度）</p> <p>学校現場で起こりがちな生徒指導上の実践事例をもとに、教師の対応をロールプレイで体験的に理解していく時間とします。職員全体への研修としても、あるいは希望する一部の職員向けの研修としてもご活用ください。</p>				

講座番号	D28	日時	各校の希望日時	会場	各学校
研修の種類	訪問型研修	対象者	小中学校教員	ライフステージ	I～III
期待される学び	①子ども観の問い直し	育成指標	E⑩個への指導		
	③教師像の問い直し				
講座名	すべての子どもに心を寄せる				別途にて参加申込
講座の概要	<p>【訪問型】不登校児童生徒の理解と支援（スクリーニングシート会議の活用）</p> <p>◆全ての子どもたちに心を配り、子どもに寄り添った支援を行うことを目指して実施するスクリーニングシート。そこから見えてきた児童生徒の実態をもとに、自分の学級にいる支援が必要な子どもに心を寄せ、具体的な支援の方向を考える等、スクリーニングシートの活用の仕方を具体的に学び合います。また、不登校の児童生徒に対して、現在どのような支援が松本市で行われているか理解し、適切な支援の方向を一緒に考えていきましょう。</p> <p>【主な内容】（研修時間は1時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度、5年度のスクリーニング会議から見えてきた松本市の不登校児童生徒の現状 自分の学級のスクリーニングシートから見える、対応に必要な児童生徒の把握とその支援の方向を考える。 松本市の不登校支援の状況 				

E 特別研修 教師としての見方・考え方を深めたり、同僚性を高めたりする研修

講座番号	E01	日時	7/25 (木) 13:00~16:45	会場	まつもと市民芸術館
研修の種類	指定研修	対象者	全教職員★	ライフステージ	全
期待される 学び	①子ども観 ②授業観の問い直し		育成指標	D④チームマネジメント	
	③教師像 ④学校像の問い直し			D⑥カリキュラムマネジメント	
講座名	結 まつもと「学びの日」				参加申込は不要です
	松本市全教職員研修（教育会と共催）				
講座の概要	<p>◆「子どもが主人公 学都松本のシンカ」に向けて踏み出した松本市。1学期の終わりに、学校教育に関わる全ての先生が一堂に会し、子どもを「主人公」とする市の教育基本方針や教育観を深める有識者の講演を聴いたり、実践や手応えを互いに話し合ったりする機会を持ちます。それを通して全ての子どもの学びを保障する学校づくりの実践をめざすまなざしを共有し、実現に向けた機運を高めることをめざします。県費および市費の全ての教職員が参加対象です。</p> <p>今年度から松本市教育会と共同開催とし、松本の子どもの関わる全ての大人が心を一つに結び、「全ての子どもの幸せの実現を目指す」という願いを込めて「結（ゆい）」のテーマを冠しました。</p> <p>【主な内容】 講師：大空小学校初代校長 木村泰子先生</p> <p>松本市教育会と共同開催とし、教育会の総集會も兼ねて開催します。松本の先生方が教育会で取り組んでいる実践の様子等も「研修」として共有し、学びます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 伊佐治教育長 講話 2 教育会の取組紹介 3 講演 木村泰子先生（映画「みんなの学校」上映後、ご講演） 4 参加者によるリフレクションおよび協議 				

講座番号	E02	日時	10/29 (火) 15:30~	会場	教育文化センター	
研修の種類	希望研修	対象者	小中学校教員	ライフステージ	I~IV	
期待される学び	①子ども観の問い直し		育成指標	A⑥カリキュラムマネジメント		
	③教師像の問い直し			E⑥指導方法		
講座名	苫野一徳先生と深める「子どもが主人公」の哲学 教育哲学研修 (オンライン)					
講座の概要	<p>◆松本市の教育大綱のテーマ「子どもが主人公 学都松本のシンカ」。この「子どもが主人公」の考え方の本質はということか、それは子どもにとって、大人にとってどんな意味を持つのか、それにより実現する未来はどういうものか…等。</p> <p>私たちが目指していく方向の「意味=why」を、教育哲学の第一人者、苫野一徳先生の導きで深めたいと思います。子ども観、授業・指導観を問い直し深める絶好の機会と考えます。「物事の本質を深く柔らかく考えること」の楽しさ、大切さを一緒に体験しましょう！</p> <p>【主な内容】 講師：熊本大学大学院 苫野一徳 准教授 講演「『子どもが主人公』の哲学」（仮題） 第2回リーディングスクール・ラボの中で行われるオンライン講演を「教育哲学研修」として、先生方に公開。</p>					

講座番号	E03	日時	4/30 (火) 14:45~	会場	教育文化センター	
研修の種類	希望研修	対象者	小中学校教員	ライフステージ	I~IV	
期待される学び	②授業観・指導観の問い直し		育成指標	D⑥カリキュラムマネジメント		
	③教師像の問い直し			E⑥指導方法		
講座名	「達人」に学ぶ！「子どもが主人公」の学級づくり 学級づくりワークショップ講座					
講座の概要	<p>◆軽井沢風越学園の岩瀬直樹校長先生は、学級づくりの「達人」でたぐいまれなファシリテーター。あらゆる授業や活動の充実のベースとなる「子どもたちが安心して自己表出できる学級づくり」のためのマインドセットや方策について、全国でワークショップを実践されています。そんな岩瀬先生の「学級づくりワークショップ講座」が松本で実現しました。楽しく、あっという間の2時間の学びで「実践してみよう」と思う手応えがたくさん得られること、間違いなし！お奨めです。</p> <p>【主な内容】 講師：軽井沢風越学園 岩瀬直樹 校長先生 ・講師によるワークを交えた講義により学級づくりの基本を実感します。 ・講師の支援を受けながら実際に活動を体験し、リフレクションすることで、実践に向けた見通しを持ちます。</p>					

講座番号	E04	日時	7～12月の指定日	会場	各学校	
研修の種類	指定研修	対象者	対象校全職員★		ライフステージ	I～IV
期待される学び	①子ども観の問い直し		育成指標	D⑥カリキュラムマネジメント		
	②授業観・指導観の問い直し			E⑧指導方法		
講座名	不易 ～岩川先生と見つめる教育の根っこ～					別途にて参加申込
	【訪問型】教師と子どもの絆を深める授業づくり研修					
講座の概要	<p>◆教育の根っこである子どもへのあたたかなまなざしについて、ふと立ち止まって問い直してみませんか。「目の前の子どもの姿をどうとらえればよいのか」「子どもを操作の対象として見るのではなく、子どもの相手になるとはどういうことか」について問い直す研修です。埼玉大学教育学部教授 岩川直樹先生と大東文化大学准教授 中村麻由子先生を学校に招き、参観した授業の子ども姿について全職員で語り合ったり、岩川先生のご講演を聴いたりすることを通して、子ども観を問い直しましょう。</p> <p>【主な内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 校長・研究主任・授業者との懇談 2 授業参観（全教員で参観） 3 子どもを物語る会（全体協議） 4 岩川先生講演会 					

講座番号	E05	日時	5/13（月）15：00～	会場	教育文化センター	
研修の種類	希望研修	対象者	小中学校教員		ライフステージ	I～IV
期待される学び	②授業観・指導観の問い直し		育成指標	D⑥カリキュラムマネジメント		
	③教師像の問い直し			E⑥指導方法		
講座名	「学びの伴走者」=ファシリテーションの基礎を学ぼう					
	ファシリテーション力向上研修					
講座の概要	<p>◆「子ども主体の授業・学校づくり」を実現するために、教師には「学びの伴走者」としての役割が期待されています。それを実現するのが、ファシリテーターとしてのマインドセットとスキル。先生の姿をモデルに子どもたちにもファシリテーションの力が育つことでしょう。昨年大好評だった研修の第2弾！「学校を元気にする」ファシリテーションの基礎を、第一人者の講師とともに、体験的に学びましょう！</p> <p>【主な内容】 講師：（株）ひとまち 代表取締役 ちょん せいこ 氏 「ホワイトボードミーティング®」開発者 ファシリテーション指導者 「よくわかる学級ファシリテーション授業編」（岩瀬直樹氏と共著） 「話し合い活動ステップアッププラン ホワイトボードで学級が変わる」 等著書多数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師によるワークを交えた講義によりファシリテーションの基本を理解します。 ・講師の支援を受けながら実際にファシリテーションを体験し、リフレクションすることで、実践に向けた見通しを持ちます。 					

講座番号		期日	時間	会場	
第1回	E 06-1	6/6 (木)	15:15~	教育文化センター	
第2回	E 06-2	9/19 (木)			
第3回	E 06-3	10/24 (木)			
第4回	E 06-4	11/18 (月)			
研修の種類	希望研修	対象者	小中学校教員	ライフステージ	ⅡⅢ
期待される 学び	③学校像の問い直し		育成指標	D④チームマネジメント	
	④教師像の問い直し			D⑥カリキュラムマネジメント	
講座名	〇〇主任のお仕事ゼミ ワークショップ型ミドルリーダー研修 Ⅰ～Ⅳ				
講座の概要	<p>◆ミドルリーダーには学校運営の要としての役割が強く期待されています。一方で「ミドルリーダーとしてどう動いたらいいのだろう」と課題意識を持ちながら日々奮闘されている先生方もおられるのではないのでしょうか。そんな悩める(?)ミドルリーダー「〇〇主任」の先生方とともに、講師の先生の話聴いて刺激を受けたり、互いの悩みや実践を語り合ったりしながら「ミドルリーダーとしての見通し」を深める機会を持ちませんか。「ちょっといい話を聴き、仲間といい話し合いをして元気がでる！」をめざすシリーズ講座です。</p> <p>●各回のみ受講も可能です。</p> <p>【主な内容】</p> <p>4回シリーズの講座です。各回とも講師の講義・演習と参加者による協議により、インプットを受けながらそれぞれの参加者の実践の成果や悩みを共有しながら学び合い、ミドルリーダーとしての実践力とつながり意識を高めます。</p> <p>第1回「ミドルリーダーに期待されること」 講師：教育研修センター長</p> <p>第2回「わたしにもできる！巻き込み型カリキュラムマネジメント入門」 講師：(株)「先生の幸せ研究所」 澤田真由美 代表</p> <p>第3回「ボトムアップによる働き方改革」 講師：信州大学教職支援センター 荒井英治郎 准教授</p> <p>第4回「インクルーシブな教育環境づくりとミドルリーダー」 講師：松本大学教育学部 樋口一宗 教授</p>				

講座番号		期日	時間	会場	
第1回	E07-1	4/15(月)	15:30~	教育文化センター	
第2回	E07-2	6/17(月)			
第3回	E07-3	9/20(金)			
研修の種類	希望研修	対象者	小中学校講師	ライフステージ	I~III
期待される学び	①子ども観の問い直し		育成指標	A 倫理観と使命感・子ども理解	
	②授業観・指導観の問い直し			E⑧指導方法	
講座名	まつもと講師塾 講師対象研修講座 I~III				
講座の概要	<p>◆日々、授業づくり、学校づくりに全力で取り組まれている講師の先生方。多様な子どもの理解と対応のあり方、授業づくりの基礎などを、計画的・継続的に学んだり、仲間の先生方と実践の工夫や悩みなどを語り合ったりしながら、教師としての知見と意欲をブラッシュアップしませんか？仲間とともに学び続けることで、先生ご自身そして子どもたちの確かな「成長」を味わいましょう！ 1回、2回のみ参加もOKです！</p> <p>【主な内容】</p> <p>3回シリーズの講座です。各回とも研修講師の先生方の講義・演習やアドバイスにより教師として知っておきたい基本事項や授業づくりについて学ぶとともに、参加者による協議・懇談を行い、相談や実践の交流を図ります。</p> <p>第1回 発達障がいのある子どもの理解と対応を学ぶ 講師：長野県発達障がい情報・支援センター 宮内かつら先生</p> <p>第2回 授業づくりの基礎基本（小中別、教科別開催）1 講師：松本市教委指導主事 松本市教科等研究推進教員の先生方</p> <p>第3回 授業づくりの基礎基本（小中別、教科別開催）2 講師：松本市教委指導主事 松本市教科等研究推進教員の先生方</p>				

F 支援員等研修 市費支援員等の職能の向上を図るための研修

講座番号	F01	期日	4月3日(水) 14:00~16:00	会場	教育文化センター 3階 視聴覚ホール・206
研修の種類	指定研修	対象者	新規採用市費教職員★	ライフステージ	II III
期待される 学び	①子ども親の問い直し ③教師像の問い直し	育成指標	E⑧指導方法 E⑩個への指導		
講座名	市費の先生はじめの一步! 市費教職員新規採用者合同研修会				参加申込は不要です
講座の概要	<p>◆市費教職員としてスタートする皆さんに対して、仕事の見通しを持っていただくための研修です。服務・心得や子どもの教育に携わる職業人としての基本的な姿勢から、事務手続きに至るまで、幅広い内容を120分の中にギュッと詰め込んだ中身の濃い研修となっています。アツという間の120分で翌日からの勤務の見通しが持てるはずです。</p> <p>【主な内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「服務・心得」について（教育監訓示） 2. 職務内容について 3. 提出書類等について 				

講座番号	期日	時間	会場		
第1回	F02-1	4/22(月)	14:30~	総合社会福祉センター	
第2回	F02-2	9/24(火)	14:30~	総合社会福祉センター	
第3回	F02-3	1/27(月)	14:30~	勤労者福祉センター	
研修の種類	指定研修	対象者	自立支援教員★	ライフステージ	I~IV
期待される 学び	①子ども親の問い直し ③教師像の問い直し	育成指標	A 高い倫理観と使命感及び確かな子ども理解 E ⑩個への指導		
講座名	つながろう自立支援教員! つなげよう社会的自立! 自立支援教員研修会 I~III				参加申込は不要です
講座の概要	<p>◆「校内教育支援センターをどのように運営していくか」「どのように子どもや保護者と関わっていくか」など、日々悩みながら子どもとかかわっているかと思います。指導主事・不登校支援アドバイザーの話を聴いたり、同じ課題意識を持った教員と成果や課題を語り合ったりすることを通して、子どもが安心して過ごせる環境を整え、本人に必要な支援を行う見通しをもちましょう。</p> <p>校内教育支援センター：校内の「中間教室」から名前が変更になりました。</p> <p>【主な内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 情報共有（市内外の状況など） 2 不登校支援アドバイザーやスクールソーシャルワーカーの話 3 グループ別討議（子どもへの支援の成果や課題など） 				

講座番号	F03	日時	6/25（火）14：30～	会場	勤労者福祉センター
研修の種類	指定研修	対象者	特別支援教育支援員★	ライフステージ	なし
期待される 学び	①子ども観の問い直し		育成指標	D④チームマネジメント	
				D⑥カリキュラムマネジメント	
講座名	特別支援教育支援員の役割ってなんだろう				参加申込は不要です
講座の概要	<p>◆特別支援教育の基本的な考え方や、大切にしたいことについて知り、「子どもに心を寄せる」支援について考えます。悩みを語り合えるグループワークもあります。</p> <p>【主な内容】 講師：宮内 かつら 先生（長野県発達障がい情報・支援センター 副センター長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の基本的な考え方や大切にしたいこと ・障がいの理解や具体的な対応等 ・グループワーク（情報交換） 				

IV 研修参加に係る諸手続き

01 | 松本市が独自で実施する研修

(1) 研修参加申込（年度当初）

学校長が推薦した受講希望者を各校の教頭がまとめて、次の手順でメールにて、松本市教育研修センター（E-mail: e-kensyu@city.matsumoto.lg.jp）に送信してください。

- ① 3月に各校の代表メールに送信した「松本市教育研修センター講座 申込み用紙(様式1)」(エクセルシート)にて手続きをする。
 - ② 学校ごと受講申込みを集約し、エクセルの入力シートに必要事項を入力する。(入力例がシートの中にあるので、その例を参照しながら入力する)
 - ③ 学校長の決裁を受けてから、次の手順で教頭がメールにて送信する。
 - 1) 以下の4月中に実施の講座の申込みは、学校長の決裁後、4月5日（金）までに松本市教育研修センターへメールにて送信する(入力シート1)。
 - ・B06 松本市新任転任教職員研修 4/11 ・E07-1 まつもと講師塾 I 4/15
 - ・B05 松本市新任教務主任職研修 4/18 ・C07-1 岩瀬直樹先生と学ぶ「探究ゼミ」 4/23
 - ・E03 達人に学ぶ「子どもが主人公」学級づくり 4/30
 - 2) 5月以降実施の講座の申込みについては、4月24日（水）までに松本市教育研修センターへメールにて送信する(入力シート2)
- ※ただし、下表1内の講座については、申込み不要です。
- ④ 校長の決裁を受け提出した希望受講講座は、原則全員受講可能となります。どうしても受講が困難な場合のみ、学校長に連絡します。受講希望者個人への通知は行いませんので、各校にて受講希望者への周知をお願いします。

※下表1：申込みが必要ない研修講座

A01 松本市実施初任者研修 I・II	B01 松本市新任管理職研修
B02 校長マネジメント研修	B04 教頭マネジメント研修
D09 「性に関する学び」教頭研修会	D21～D28の「課題別訪問研修」
E01 全教職員研修「結 まつもと『学びの日』」	F01 市費教職員新規採用者合同研修会
F02 自立支援教員研修会 I・II・III	F03 特別支援教育支援員研修

※ D21～D28 は、随時、担当より申込みについての連絡がありますので、ご確認ください。
E04 教師と子どもの絆を深める授業づくり研修 は、すでに申込済みです。

(2) 追加募集（随時）

- ① 申込み締切以降、追加申込みが可能な場合、引き続き申込みを受け付けます。基本は、どの講座も追加募集可能となります。
- ② 研修講座追加申込み希望の教職員がいた場合は、次の手順でお願いします。
 - 1) 管理職が松本市教育研修センターへ電話連絡（TEL:87-9909）をして、その旨を伝える。
 - 2) 電話後、4月に提出した「入力シート1 or 2」の最下段に希望講座等を入力し、備考欄に「追加申込」と記入の上、メール(E-mail: e-kensyu@city.matsumoto.lg.jp)にて申込みを行う。
- ③ 申込み期間は、各講座の実施日7日前までに申し込んでください。

(3) 欠席、早退、遅刻

① 欠席について

止むを得ない事由により当該教職員が研修に参加できない場合は、次の手順でお願いします。

- 1) **管理職**は、松本市教育研修センターへ**電話連絡**(TEL:87-9909)をして、その旨を伝える。
- 2) 電話後、「**松本市教育研修センター講座 欠席・早退・遅刻 届**(様式2)」を作成し、**FAX**(33-3934)または**メール**(E-mail: e-kensyu@city.matsumoto.lg.jp)にて送信する。(様式はホームページからダウンロードできます:3月にメールでも送信します。ご活用ください)
- 3) 欠席をする教職員に代わり他の教職員が受講する場合、先述の様式に代理受講者名を記入して提出する。

※ 当日、研修受講者が**体調不良の場合は、管理職とよく相談し、出欠を判断**してください。くれぐれも無理をして参加しないようにお願いします。

② 遅刻・早退について (様式はホームページからダウンロードできます:3月に、メールでも送信します。ご活用ください)

遅刻・早退となる場合は、次の手順でお願いします。

- 1) **管理職**は、松本市教育研修センターへ**電話連絡**をして、その旨を伝える。
- 2) 電話後、「**欠席・遅刻・早退 届**」を作成し、**FAX**(33-3934)または**メール**にて送信する。

※ 当日、研修参加者は、体調不良等で受講中に早退とならないように、**不安がある場合は事前に管理職とよく相談**してください。止むを得ず体調不良で講座途中で早退となった場合は、松本市教育研修センターより学校長へ電話にて連絡します。後日「**欠席・遅刻・早退 届**」を作成し、**FAX** または**メール**にて送信してください。

02 | 長野県教育委員会と連携して実施する研修

松本市では、基礎研修及び一部の研修、一部の職務研修については、長野県教育委員会と連携をして行っていきます(下記参照)。また、松本市の県費負担教職員は、長野県総合教育センターや体育センターが実施する研修に参加することができます。これらの県が実施する研修については、県が指定する方法等により参加申込みを行ってください。

○「初任者研修、キャリアアップ研修Ⅰ～Ⅲ、義務校長研修、義務新任校長研修、義務2年校長研修、教頭研修会、新任教頭研修ⅠⅡ」は、長野県教育委員会と連携して実施する。

※ただし、「校長マネジメント研修」と「教頭マネジメント研修」は松本市教育研修センター主催の研修に参加する(申込みの必要はありません)。

03 | 申込み上の留意点

- 研修講座一覧の中から選んでください。長野県教育委員会主催の指定研修と重複しないよう注意してください。
- 複数の研修講座を申し込む場合は、実施日が重複しないように注意してください。また、学校の行事・業務等と重複しないように注意してください。
- 総合教育センターや体育センターの講座については、それぞれの手順に従って申込みを行ってください。

(様式1) 松本市教育研修センター 講座申込み用紙

色付きの部分だけ入力してください。
*4月5日(金)までに送信

学校番号	学校名	学校長名	教頭名	延べ参加者数
				人

N	学校名	氏名	フリガナ	職員番号	職名	講座番	講座名	期日	備考
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									

(様式 2)

令和 年 月 日

松本市教育研修センター研修講座（欠席・早退・遅刻）届

※該当箇所を○で囲む

松本市教育研修センター長 様

学校名

校長名

電話番号

このことについては、下記のとおりです。

記

受講者氏名	職名	職員番号

講座番号	講座名	講座期間
		月 日()~ 月 日()
欠席・遅刻・早退 の事由		

※ 代理受講者がある場合は、下の欄に代理受講者名等を記入してください。

なお、欠席者の代理として、次の教員が受講します。

代理受講者氏名	職名	職員番号					

参考 長野県の教員育成指標

平成28年11月、教育公務員特例法の一部が改正され、教員としての資質の向上に関する指標の策定が義務付けられました。長野県教育委員会では、教員が各キャリアステージにおいて担う役割を明らかにするとともに、自らの職責や経験、適性に応じて効果的、継続的に学び続けることができるよう、長野県教員育成指標を策定しました。

長野県教職員育成指標：

https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku/kyoshokuin/documents/kyoinikuseishihyo_r4kaitei.pdf

松本市教育委員会においては、長野県教育委員会が公表した「長野県の教職員として求められる資質能力」および「長野県教員育成指標」を参酌しつつ、松本市の教職員研修の目的や目標を実現していく教職員研修を実施していきます。

(1) 長野県の教職員として求められる資質能力

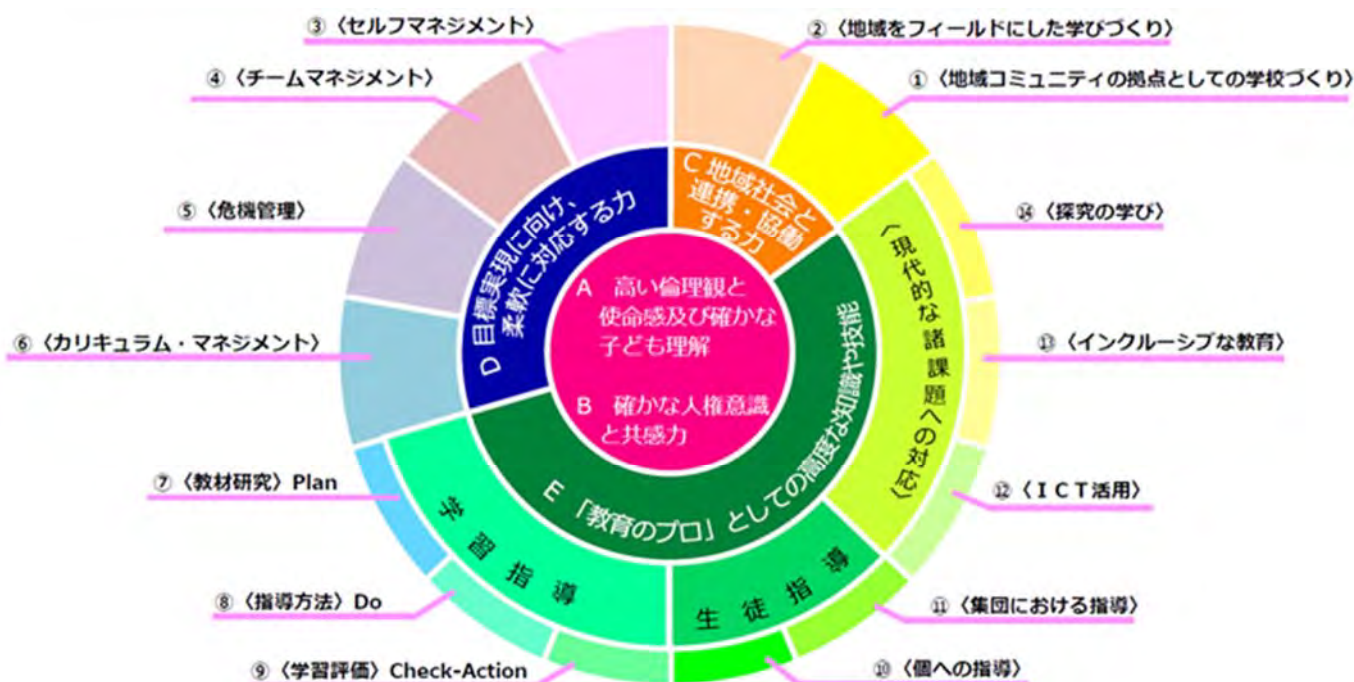
長野県では、「長野県教職員研修体系」の中で「長野県の教職員として求められる資質能力」として、次の5つを示しています。

求められる資質能力	指標の種類
A 高い倫理観と使命感及び確かな子ども理解	理念指標
B 確かな人権意識と共感力	理念指標
C 地域社会と連携・協働する力	実務指標
D 目標実現に向け、柔軟に対応する力	実務指標
E 「教育のプロ」としての高度な知識や技能	実務指標

これらの「求められる資質能力」は「理念指標」と「実務指標」に分けられます。

「理念指標」は、繰り返し自覚し絶えず意識化を図る資質能力であり、教員の資質能力の中核に位置付けられるものです。

「実務指標」は、経験や研修を積むことで高めていく資質能力です。さらに、このC～Eの実務に係る資質能力を支えるスキルとして14のスキルが位置付けられています。これらの実務的なスキルの教員のキャリアステージに応じた高まるものとして、各段階で到達することが望ましい姿が「育成指標」として具体的に示されました。



(2) 教員のキャリアステージ

長野県では、教員のキャリアステージを「基礎形成期」、「伸長期」、「充実期」、「次世代育成期・管理職期」に区分し、各キャリアステージの高まりを示しています。スキルの向上は、必ずしも年代や経験年数によるものではないため、「相当」という言葉を用いて幅をもたせています。

○第Ⅰ期 基礎形成期相当（経験1年～5年程度）
・教科指導や生徒指導について基礎的・基盤的な力を身に付け、実践力を磨く時期。 ・任された業務に積極的に取り組み、よい授業や学級経営に触れ、先輩や同僚から学びながら、常に新たな視点を身に付けていきます。
○第Ⅱ期 伸長期相当（経験5年～10年程度）
・教科指導や生徒指導の力をさらに身に付け、これまでの自分の実践を見返しながら、専門性を高めていく時期 ・教科や学年などのグループのリーダーとして、同僚性を高めたり、推進力を発揮したりしていきます。
○第Ⅲ期 充実期相当（経験10年～20年程度）
・学校の中核となる教員としての自覚をもち、組織マネジメントやリスクマネジメントなどの力を身に付け、それらを発揮していく時期 ・チームとしての学校への貢献度を高め、校内研修の充実を図りながら、学校の教育力を高めます。
○第Ⅳ期 次世代育成期相当／管理職期相当（経験20年以上程度）
・教員としての人間力をさらに向上させ、豊富な経験を生かし、多面的・多角的な視野をもって組織的な運営を推進していく時期 ・学校運営や、他の職員への助言や支援、学校の教育課題の解決を行い、学校や地域全体の教育力を向上させるリーダーとしての役割を担います。

(3) 長野県教員育成指標

長野県の教員育成指標では、それぞれの資質能力を支えるスキルごとに、「チームとしての学校」の一員として、教員が各ステージで果たす役割に着目してスキルの高まりを表しています。

第Ⅰ期、第Ⅱ期は、主に知識・技能の熟達が高まり、第Ⅲ期、第Ⅳ期は、主にチームへの貢献が高まっていきます。

また、第Ⅰステージが土台となり、それに第Ⅱ、第Ⅲ、第Ⅳステージが積み重なってそれぞれのスキルが高まっていくことをイメージして表しています。

長野県教員育成指標

※長野県教育委員会作成「長野県教員育成指標」をもとに作成

ライフステージ		第Ⅰ期 基礎形成期相当	第Ⅱ期 伸長期相当	第Ⅲ期 充実期相当	第Ⅳ期 深化・貢献期相当／ 管理職期相当
A 高い倫理観と使命感および確かな子ども理解		①社会の秩序と規律を遵守し、信頼される存在 ②教員としての責務の自覚 ③子どもに関する確かな科学的知見と深い人間愛			
B 確かな人権意識と共感力		①すべての人の人権を尊重する態度 ②児童生徒や保護者の思い（喜びや悲しみ）を感じ取る力			
C 地域協働する力	① 地域コミュニティの拠点としての学校づくり	・地域の活動や行事に積極的に参加したり、地域の方と交流したりして、地域理解に努める。	・学習支援ボランティアの活用など、地域の人的・物的資源を効果的に組み合わせて教育課程を編成する。	・運営委員会と協働して活動を推進する中で、学校と地域が願いを共有して学校づくりに取り組めるようにする。	・地域と協働して児童生徒を育てる中で、地域コミュニティの拠点として、地域の活力・教育力の向上に貢献する。（管・深）
	② 地域をフィールドにした学びづくり	・地域素材を教材化したり、地域での体験学習を取り入れたりして、児童生徒が地域を理解し、そのよさを実感できるようにする。	・地域の課題を発見したり解決策を提案したりする学習を通して、児童生徒が郷土への誇りや郷土の一員としての自覚を深められるようにする。	・地域をフィールドにした学習を推進するリーダーとして、自校・近隣校での実践の充実に寄与する。	・学校と地域、学校間をつなぐネットワークを構築し、地域貢献につながる教育活動を展開する環境を整える。（管・深）
D 目標実現に向け、柔軟に対応する力	③ セルフ・マネジメント	・ワークライフバランスを重視し健康や時間を自ら管理しながら職務に向かうコンディションを維持する。 ・自己課題に沿った研修を実施し、周囲の助言や自己の振り返りをもとに、成長し続けようと努力する。	・自らの教職キャリアを俯瞰し、強みと課題を明らかにし今後の目標を設定し、日々の教育実践に具体化する。	・職務に関する最新の動向を把握したり、自分が得意とするスキルを磨いたりして、力量向上を図る。	・教員のロールモデルとしての役割を自覚し、自らの専門性や経験に基づいて、後進の指導にあたる。（管・深）
	④ チーム・マネジメント	・チームの一員としての自己の役割を自覚し、任せられた職務に対して誠実に取り組む。 ・チームの目標を理解し、同僚と協力して目標実現に向けて努力する。	・学年経営や教科経営に積極的に参画し、メンバーと意思疎通を図りながら、既成概念にとらわれないアイデアを提案する。	・学校経営に積極的に参画し、自校の教育活動の状況を的確に把握しながら、校内の様々なチームや外部の専門職との連携・調整を図る。	・教職員一人一人が持っている力を引き出し、学校教育目標の達成を目指す組織文化を醸成する。（管・深） ・「チーム学校」の実現を通じて、複雑化・多様化した課題を解決に導いたり、教員が児童生徒と向き合う時間的・精神的な余裕を確保したりする。（管・深）
	⑤ 危機管理	・信頼される学校を実現する上で、危機管理やコンプライアンスが欠かせないことを理解し、危機の未然防止や発生時の対応に確実に取り組む。	・職場内での同僚性を高め、情報を共有したり、危機管理やコンプライアンスについて話題にしたりする風土を醸成する。	・発生事例やヒヤリハット事例を収集・分析するなどの研修を企画したり、危機を想定した訓練を行ったりして、学校の危機管理能力を高める。	・危機管理マニュアルを策定し学校の危機管理体制を整え、リスクの低減や危機発生時の的確な対応について、組織的に取り組む。（管・深）
	⑥ カリキュラム・マネジメント	・日々の教育活動を「目標－内容－方法－評価」のセットで捉え、意図的・計画的に実践する。	・各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校教育目標の達成に向けて、教科等横断的な視点で、教育内容を組織的に配列する。	・児童生徒や地域の状況に関するデータ等に基づき、教育課程の編成・実施・評価・改善を行う一連のPDCAサイクルを確立する。	・児童生徒や地域の特性等に基づき学校教育目標を設定し、その達成を実現する教育課程編成の方針を策定する。（管・深） ・学校教育目標の達成に向けて、学校や地域が持っている人的・物的資源等を効果的に組み合わせる。（管・深）

ライフステージ		第Ⅰ期 基礎形成期相当	第Ⅱ期 伸長期相当	第Ⅲ期 充実期相当	第Ⅳ期 深化・貢献期相当／ 管理職期相当	
E 「教育の プロ」としての 高度な知識 や技能	学習 指導	⑦ 教材研究 (Plan)	・教科等の特質に応じた「見方・考え方」を活用して「知識・技能」を確実に身に付ける授業を構想する。 ・「習得－活用－探究」の学びの過程を通して、児童生徒が「思考力・表現力・判断力等」を高めていく単元を構想する。	・個々の児童生徒の学びの特性や状況に応じ、既得の知識や技能を活用して課題を解決する学習過程を構想する。	・教科会や学年会で教材研究を行う時間を確保するとともに、教材研究の仕方を学校全体でそろえる。	・自らの専門性や経験を生かして、学校全体の教材研究の質を高める。(深・管)
		⑧ 指導方法 (Do)	・「授業がもっとよくなる3観点」や「信州Basic」を踏まえた授業を確実に行う。 ・「主体的・対話的で深い学び」の視点から、授業改善に取り組み、児童生徒の個性に応じた質の高い深い学びを引き出す。	・学習指導と生徒指導の両面から児童生徒の学びを捉え、対話的な関わりを通して、児童生徒がメタ認知能力を発揮しながら「学びに向かう力」を高めていくようにする。	・校内で互いに授業を見合う機会を設定し、創意工夫に基づく指導方法の不断の見直しに学校全体で取り組む。	・自らの専門性や経験を生かして、学校全体の指導方法の質を高める。(深・管)
		⑨ 学習評価 (Check-action)	「目標に準拠した評価」により一人一人の学習状況を把握し適切なフィードバックを行い内容の確実な定着を図る。 ・児童生徒が自己評価を行うことを学習活動に位置付け、学習内容の価値や自己の高まりに気づかせる。	・「パフォーマンス評価」や「ポートフォリオ評価」など、多様な評価方法を用いて児童生徒の学びの深まりを把握し、学習・指導の改善に生かす。	・様々な教育活動で行われている学習評価を関連付け、学校全体の学習の成果を的確に捉え、教育課程の改善に生かす。	・自らの専門性や経験を生かして、学校全体の学習評価の質を高める。(深・管)
	生徒 指導	⑩ 個への指導	・児童生徒の内面を共感的に理解し信頼関係を構築する。 ・保護者や同僚と連携し、児童生徒を取り巻く環境や抱えている課題を的確に把握し、指導に生かす。	・コーチングスキルを身に付け、児童生徒自身の主体的な判断や自己決定を促すなど、一人一人のキャリア形成につながる指導に努める。	・児童生徒の状況を日常的に把握し、適時性のある指導方針を示したり、ケース会議の充実を図ったりして、学校全体の生徒指導をリードする。	・関係機関との連携を強化するとともに、教職員一人一人の役割を明確にした校内指導体制を構築し、その推進にあたる。(深・管)
		⑪ 集団における 指導	・集団生活を送る上でのルールづくり、人間関係づくりを通して、児童生徒の社会的スキルを高める。 ・自発的・自治的な活動を重視し、児童生徒の集団への所属感や連帯感、問題解決力を高める。	・様々な教育活動との関連付けを図り、児童生徒の生活や学習の基盤としての集団の機能を高める。	・自らの実践を通して、校内における望ましい集団づくりをリードする。	・児童生徒が所属する校内の様々な集団の状況を把握し、学校全体で改善・向上に取り組む。(深・管)
	現代 的な課題 への 対応	⑫ ICT活用	・学習目標の達成や校務の効率化に向け、学校にあるICT端末やクラウド等を効果的に活用する。 ・児童生徒の発達段階や実態に応じ、具体例に基づいた情報モラルの指導を行う。	・ICT端末やクラウド等を活用した実践事例を蓄積し、校内で共有する仕組みをつくったり、同僚の相談にのったりして、ICT端末やクラウド等の活用を校内に広げる取組を行う。	・教職員のICT活用指導力を把握し、校内研修を計画的に行ったり、一人一人の実態にあった研修の内容や方法をアドバイスしたりして、教職員の指導力を高める。	・児童生徒に応じ学校の情報化を進めるためのロードマップを策定し、実現を目指す。 ・保護者や地域、関係機関と連携し、情報モラルの指導を体系的に推進する。(深・管)
		⑬ インクルー シブな教育	・認知などの特性や発達障がい、合理的配慮に関する基本的な知識や考え方を身に付け、児童生徒の実態や教育的ニーズを踏まえ一人一人に応じた支援を行う。 ・授業のユニバーサルデザイン化に取り組む。	・児童生徒への理解力を高めるとともに、多様性を認め共に成長する集団づくりに同僚と協働して取り組む。 ・アセスメントについての知見を身につけ、必要に応じて活用する。	・自発的・自治的に活動できる集団づくりをする。 ・アセスメントの知見を活かし、同僚への指導助言や実践の発信等を通して校内の特別支援教育の充実を図るとともにインクルーシブな教育をリードする。	・地域の支援者との連携等を強化し、課題解決に向けた体制を構築するとともに、インクルーシブな教育の取組等の情報を地域へ発信する。(深・管)
		⑭ 探究の学び	・探究の過程を生み出す手法を身に付け、ファシリテーターとして、探究の学びの実現に取り組む。 ・児童生徒や地域の実態に基づき、総合的な学習の時間(小中)総合的な探究の時間(高)のねらいを実現する学習プランを作成する。	・学習プランを開発したり、ポートフォリオ評価に用いるルーブリックを作成したりして、校内での探究の学びの推進を支援する。	・探究の学びを推進するリーダーとして、自校・近隣校での実践の充実や教員の専門性の向上に寄与する。	・探究の学びを中核に位置付けた教育課程を編成したり、人的・物的資源を組み合わせ支援体制を構築したりする。(深・管)

ライフステージ		第Ⅰ期 基礎形成期相当	第Ⅱ期 伸長期相当	第Ⅲ期 充実期相当	第Ⅳ期 深化・貢献期相当／ 管理職期相当
E 「養護教諭」 としての 高度な 知識や 技能	<保健管理>	<ul style="list-style-type: none"> ・けがや疾病の症状を的確に見極め、受診の必要性などについて適切判断し、迅速に対応する。 ・救急体制を整備し、関係機関と連携しながら組織的に対応する。 ・児童生徒の健康上の課題を早期に発見し、適正な保健管理を行う。 ・特別な配慮を要する児童生徒について関係機関と連携し保健管理を行う。 ・保健管理の効率化に向け、ICT 端末やクラウド等を効果的に活用する。 ・健康情報や公文書を適正に管理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒のけがや疾病及び感染症流行などの未然防止、再発防止について教職員の共通理解を図り組織的に推進する。 ・特別な配慮を要する児童生徒の学校生活上のニーズを踏まえ、安心・安全な学校生活を送れるよう支援体制を構築する。 ・ICT 端末やクラウド等を活用した保健管理の実践事例を蓄積し、校内で共有する取組を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健管理の充実に向けて保護者や関係機関と連携して組織的に取りみ、コーディネータ的な役割を果たす。 ・ICT 端末やクラウド等を活用し、地域や保護者、関係機関と連携しながら、効果的な取組を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係諸機関との協力体制をコーディネートし、教育活動の円滑な実施と保健管理の充実を図る。
	<保健教育>	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム・マネジメントの視点を生かし、保健教育の年間指導計画の作成に参画する。 ・児童生徒の実態や科学的根拠を踏まえ学級担任等と連携しながら保健教育を行う。 ・ICT 端末やクラウド等を活用した保健教育を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が自分の健康課題に気付き、主体的に取組む態度を養う保健教育を推進する。 ・家庭・地域と連携して健康課題を捉え、探究的学びを取り入れた指導方法で実践 ・評価・改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科横断的な指導を取り入れる。 ・児童生徒の実践力に結びつく効果的な保健教育を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導的立場で保健教育を組織的に推進する。
	<保健相談/ 保健指導>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康課題の背景の把握、支援方針・支援方法の検討、学校内外の連携というプロセスを理解する。 ・個別の健康課題を捉え、発達段階に応じた課題解決に向けて、健康相談・保健指導を行う。 ・特別な配慮を要する児童生徒のニーズを見極めた健康相談・保健指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康相談・保健指導に必要な援助資源の情報を収集・活用し、関係者間のネットワークを構築する。 ・教育相談係や特別支援教育コーディネーターと連携し、チームとして対応する。 ・ICT 端末やクラウド等を活用した健康相談・保健指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の健康課題の解決に向け、児童生徒の意思決定力や自己解決能力の育成を図る。 ・学校内外の関係者との即応的継続的な相談支援体制の構築においてコーディネーターの役割を果たす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の心身の健康課題の解決に向けた計画的・組織的な健康相談・保健指導において、指導的役割を果たす。
	<保健室経営>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT 端末やクラウド等を活用して情報を収集・分析し、主な健康課題について焦点化を図る。 ・学校教育目標や学校保健目標を踏まえ児童生徒の健康課題に応じた保健室経営計画を作成し、実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健室経営計画を全職員に周知し、理解と協力を得て組織的に保健室経営を行う。 ・学校教育目標の具現に向け組織運営に積極的に参画し、保健室経営を工夫・評価・改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健活動における保健室のセンター的役割を理解し学校内外の関係者と連携しながら組織的な保健室経営を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の課題解決に向けて、保健室経営を行うことで、学校運営に貢献する。
	<保健組織活動>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健組織活動の企画・運営に積極的に参画し、教職員と連携して学校保健活動を推進する。 ・健康課題を把握し、学校三師・関係諸機関・関係者等との連携・協力体制を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健主事とともに組織活動を積極的に推進し、活動の評価・改善を通して、児童生徒・教職員等が主体的に参加できる体制を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の健康課題解決のために、保護者や関係機関と効果的に連携・調整し、専門的な立場から積極的に企画・運営に参画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の健康課題解決に向けたマネジメント力を発揮し、地域の関係者と連携して活動を推進する。
	<安全管理・ 危機管理>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態や特性に配慮した学校環境や連携体制を整備する。 ・事故発生時には、関係者に報告・連絡を確実にし、指示を仰ぎながら対応する。 ・事故発生事例を分析し、課題を明らかにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故発生事例を分析し、学校環境や児童生徒の行動の改善に取り組む。 ・関係機関との連携を強化して学校の安全管理体制や危機管理体制を点検・整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会や想定訓練の企画・運営を積極的に行い、学校の危機管理能力の向上を図り、危険を予見するとともに対処する。 ・事件・事故が発生した場合に適切かつ迅速に対処する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平常時の安全確保、事故等の未然防止・再発防止を組織的に行い、リーダー的役割を果たして安全管理の充実を図る。 ・養護教諭の専門性に基づき安全管理体制について助言する。
	<研究・研修>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒や学校の健康課題に対し、課題意識や研究疑問を見出す。 ・日常の実践から課題意識を持ち、課題解決や実践力の向上に向けて積極的に研修に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題意識を持ち、仮説を立て検証する養護実践を行い、評価する。 ・学び続ける意欲を持ち、自己研鑽に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの養護実践を研究的にまとめ学校内外の関係者に発信する。 ・専門性を深化・拡充するための自己研鑽に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの実践や経験を検証し言語化することで、成果を次世代に継承する。 ・導き出された成果を同僚や仲間と共有し活用することで養護教諭の専門性を高める。 ・現代的健康課題や社会の変化に対応できるよう自己研鑽に努める。

ライフステージ		第Ⅰ期 基礎形成期相当	第Ⅱ期 伸長期相当	第Ⅲ期 充実期相当	第Ⅳ期 深化・貢献期相当／ 管理職期相当	
E 「栄養教諭」としての 高度な知識や技能	A 食に関する指導 V	給食の時間の指導	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の食文化や産業等を理解し、食に関する指導の全体計画に沿って、学校給食を「生きた教材」として活用した食に関する指導を行う。 ・食育だよりやICTを活用した家庭への食育を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の発育状況や栄養摂取状況の実態について栄養アセスメントを行い、発達段階に応じた指導を関係職員等と連携して行う。 ・給食の時間における指導の状況を適切に把握し、評価・改善し、学校全体における指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係職員と連携しながら、食に関する全体計画の見直し・改善を図り、中核となって取り組む。 ・事例研究や調査研究を行い研修会や学会等で発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の充実を図り、地域全体に助言を行うなど、指導的役割を果たす。
		教科等の指導	<ul style="list-style-type: none"> ・教科や学級活動のねらいを理解し、教育活動全般を通して、教科・学級担任と連携し、食に関する指導を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育としての食に関する指導について教科横断的な視点を持ち、食に関する指導の全体計画にそった継続的な指導を推進する。 ・専門性をさらに高め、これまでの実践について評価・改善し、成果をまとめ、校内で共有し、指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係職員と連携しながら、食に関する全体計画の見直し・改善を図り、中核となって取り組む。 ・事例研究や調査研究を行い研修会や学会等で発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の充実を図り、地域全体に助言を行うなど、指導的役割を果たす。
		個別的な相談指導	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の食に関する個別的な課題のアセスメントに基づき、関係職員と連携し児童生徒・保護者への個別的な相談指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性をさらに高め、これまでの実践について評価・改善し、成果をまとめ、校内で共有し、指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例研究や調査研究を行い研修会や学会等で発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職として相談・指導を実施するとともに、地域における指導的役割を果たす。
	A 学校給食の管理 V	栄養管理	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食摂取基準に基づき、多様な食材を活用した献立の計画を立案する。 ・児童生徒の実態から適切な栄養管理を関係職員と連携して行うとともに、食物アレルギーに配慮した対応を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・献立のねらいを明確にし、関連する教科等の学習内容を踏まえ、食に関する指導の全体計画に沿った取組みを組織的に推進し、評価・改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、児童生徒や地域の健康課題を把握して、適切な栄養管理を行い、評価・改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域の課題を踏まえ調査研究するとともに、関係職員と連携し、組織的に地域の食に関する課題に対する改善策をフィードバックするなど地域において指導的役割を果たす。
		衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備等の課題を的確に捉え、課題について、関係機関と連携してチームとして適切な対応を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食中毒予防等に係る適切な衛生管理について、マニュアル等の見直し、改善を図り、関係職員と連携しながら、中核となって取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理についてリスクマネジメント等の力を身に付け給食関係職員等に指導助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食における衛生管理について地域全体に助言を行うなど、指導的役割を果たす。
		危機管理 [異物混入、食中毒、食物アレルギー等]	<ul style="list-style-type: none"> ・異物混入、食中毒、食物アレルギー等の危機管理マニュアル等に基づき、安全に配慮した給食運営を行い、事故発生時には適切な報告・連絡・相談を行い問題の解決に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故発生時には、適切かつ迅速に対処するとともに、事故事例を分析し再発防止を図る。 ・災害時における学校給食施設の役割について理解し、行政機関等との連携体制について必要に応じて見直すなどの改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故事例の分析結果を活用し、事故発生時にはより適切かつ迅速な対応をするとともに、調整役としての役割を果たす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職として相談・指導を実施するとともに、地域における指導的役割を果たす。 ・地域全体に影響する災害等の重大事故の場合は、リーダー的役割を果たす。

松本市教職員研修計画検討会議 委員名簿

荒井 英治郎	信州大学教職支援センター准教授
上條 雪絵	松本市立清水中学校教頭
桐原 さやか	松本市立梓川中学校教諭
高橋 康弘	松本市立鎌田小学校教頭
田中 智之	松本市立明善小学校長
水野 真二郎	松本市立開智小学校教諭
宮内 かつら	長野県松本養護学校教諭
山口 真一	松本市立清水中学校長

※ 役職等は令和4年度のものです。

松本市教職員研修計画

令和5年2月策定

令和6年2月改訂

松本市教育委員会

〒390-0874

松本市大手3丁目8番13号

松本市役所大手事務所4F

TEL 0263-87-9909

FAX 0263-33-3934



令和6年度

松本市 教職員研修計画 （概要版）

わたしたちは、
「すべての子ども・教師のゆたかな学び」
をめざします。

○ 「子どもが主人公」多様性・創造性・主体性を育むために、
あなたの取り組みたいと願うことを書きましょう

○ 今年度受講したい研修講座を記入しましょう

No.	講座番号	研修講座名	実施時期
1			
2			
3			
4			
5			

令和6年度実施の教職員研修

くわしくは、「松本市教職員研修計画【令和6年度版】」冊子または電子版「松本市教職員研修計画【令和6年度版】」をご確認ください。

●…県教育委員会と連携実施する研修 ★…対象者を指定する研修（対象者全員参加）

研修領域	講座番号	重点	研修講座名	講師等	実施期日	詳細P
A 基本研修	A01	①②	●小中学校教諭 初任者研修 1年次研修 15日		4月～1月	7
		①～③	●小中学校教諭 初任者研修 2年次研修 3日		4月～1月	
		①～③	●キャリアアップ研修Ⅰ 4日		5月～2月	
		①～③	●キャリアアップ研修Ⅱ 6日		5月～2月	
		①～④	●キャリアアップ研修Ⅲ 3日		5月～2月	
B 職務別研修		③④	●新任校長研修		4/17(水)	
		④	●新任教頭研修 2日		5/30、6/3	
	B01	③④	松本市新任管理職研修	伊佐治教育長 坂口教育監	4/5(金)	8
		④	●義務校長研修		5/14(火)	
	B02	④	校長マネジメント研修	甲南女子大 村川雅弘教授 日本大 北村勝朗教授	5/23(木)	8
	B03	①～④	校長・特支コーディネーター合同研修	信州大 庄司和史特任教授	7/4(木)	9
	B04	③④	教頭マネジメント研修	信州大 荒井英治郎准教授 (株)ひとまち ちよんせいこ代表	5/13(月)	9
	B05	③④	新任教務主任研修	信州大 荒井英治郎准教授	4/18(木)	10
B06	①②	松本市新任転任教職員研修	伊佐治教育長 坂口教育監	4/11(木)	10	
B07	①②	研究主任研修会 I～Ⅲ	小金井西小 村上聡恵教諭 信州大 佐藤和紀准教授	5/14、8/20、 12/20	11	
B08	①②	特別支援教育コーディネーター研修 I II	県発達障がい情報支援センター 宮内かつら 副センター長 他	6/24、 11/18	11	
C 専門研修	C01	①②	小学校国語授業づくりセミナー I～Ⅲ	松本大 上月康弘専任講師	9/13、10/18 11/15	12
	C02	①②	小学校社会科授業づくりセミナー I～Ⅲ	松本大 秋田 真 教授	6/27、7/18、 9/26	13
	C03	①②	算数数学授業づくりセミナー I～Ⅲ	松本大 佐藤茂太郎准教授	5/2、9/17、 12/3	14
	C04	①②	理科授業づくりセミナー I～Ⅲ	科学博物館館長 指導主事	6/14、7/11、 10/1	15
	C05	①②	対話を生かした道徳の授業づくり	立命館大 荒木寿友教授	6/21(金)	16
	C06	①②	畔上一康先生と学ぶ 「探究の学び」入門講座	信州大 畔上一康特任教授	5/9(木)	17
	C07	①②③	風越学園岩瀬直樹先生と学ぶ 実践的「探究ゼミ」I～V	軽井沢風越学園 岩瀬直樹校長	4/23、6/24、 8/1、 10/10	18
	C08	①②	体育授業づくり研修	松本大 濱田敦志准教授	7/31(水)	19
	C09	①②	実践校に学ぶ 「単元内自由進度学習」	実践校 研究主任 等	6/25(火)	19
	C10	①②	実践校に学ぶ 「低学年期の学びの充実」	実践校 研究主任 等	5/31(金)	20
C 実践等	C11	①②	実践校に学ぶ 「探究の学びを支援する教師の研修」	実践校 研究主任 等	5/28(火)	20
	C21	②	上高地フィールドワーク	科学博物館館長 指導主事	5/29(水)	21
	C22	②	美ヶ原フィールドワーク	山岳ガイド協会やまたみ山岳ガイド 科学博物館館長・指導主事	5/16(木)	21
	C23	②	まつもと学研修 I～Ⅲ	文化財課 小山淳一氏 山辺教育支援センター 上條直利氏	5/24、6/28 10/25	22
	C24	①②	一人一台端末を活用した授業づくり (基礎編)	指導主事	7/11(木)	23
	C25	①②	一人一台端末を活用した授業づくり (応用編)	指導主事	12/17(火)	23
C26	①②	ICT活用 小学校プログラミング学習実習基礎	指導主事	5/17(金)	24	

研修領域	講座番号	重点	研修講座名	講師等	実施期日	詳細P
D 課題別研修	D01	①③	不登校児童生徒の理解と支援	信州大 高橋 史 准教授	5/10(金)	25
	D02	①③	特別支援教育研修Ⅰ 障がいの理解と合理的配慮	かとうメンタルクリニック 樋端佑樹院長	7/29(月)	25
	D03	①②	特別支援教育研修Ⅱ 障がいの理解と支援 「教えて！本田先生」	信州大医学部 本田秀夫教授	9/5(木)	26
	D04	①②	特別支援教育研修Ⅲ 生活単元学習の授業づくり	中信地区特別支援学校7校 教育相談担当	10/22(火)	26
	D05	①③	インクルーシブ研修Ⅰ（理論編） 「学びにくさを抱える子どもの理解」	指導主事	6/5(水)	27
	D06	①③	インクルーシブ研修Ⅱ（実践編） 「学びにくさを抱える子どもの支援」	指導主事	7/8(月)	27
	D07	①③	情報モラル指導者研修	指導主事	10/31(木)	28
	D08	①②	デジタル・シティズンシップ教育研修	鳥取県DCエドゥケーター 今度珠美氏	10/3(木)	28
	D09	①④	「性に関する学び」教頭研修	石井美恵子助産師	5/10(金)	29
	D10	③④	カリキュラムマネジメント研修 I～Ⅲ	甲南女子大 村川雅弘教授 大阪教大 田村知子教授	5/24、10/8 12/19	30
D 課題別訪問研修	D21	①②	【訪問型】特別支援教育研修	発達障がい情報支援センター副センター長 県特別支援学校相談担当教諭	学校の希望日	31
	D22	①②	【訪問型】デジタル・シティズンシップ研修	鳥取県DCエドゥケーター 今度珠美氏	10/4(金)	31
	D23	①②	【訪問型】接遇・対応力向上研修	指導主事	学校の希望日	32
	D24	①②	【訪問型】講師サポート研修	指導主事	学校の希望日	32
	D25	①②	【訪問型】外国語授業づくり研修	ALT派遣会社講師	学校の希望日	33
	D26	①③	【訪問型】ICT端末活用研修	指導主事	学校の希望日	33
	D27	①③	【訪問型】生徒指導研修	指導主事	学校の希望日	34
	D28	①③	【訪問型】不登校児童生徒の理解と支援（スクリーニング会議の活用）	指導主事	学校の希望日	34
E 特別研修	E01	①～④	松本市全教職員研修 「結 まつもとと学びの日」	大阪市立大空小学校 木村泰子 初代校長	7/25(木)	35
	E02	①③	教育哲学研修 「『子どもが主人公』の哲学」	熊本大 苦野一徳准教授	10/29(火)	36
	E03	②③	達人に学ぶ！ 学級づくりワークショップ	軽井沢風越学園 岩瀬直樹校長	4/30(火)	36
	E04	①②	【訪問型】教師と子どもの絆を深める 授業づくり研修	埼玉大 岩川直樹教授	指定日	37
	E05	②③	ファシリテーション力向上研修	(株)ひとまち ちよんせいこ代表	5/13(月)	37
	E06	③④	ワークショップ型 ミドルリーダー研修 I～Ⅳ	先生の幸せ研究所 澤田真由美代表 信州大 荒井英治郎准教授 松本大 樋口一宗教授	6/6、9/19、 10/24、 11/18	38
	E07	①②	まつもと講師塾 I～Ⅲ	県発達障がい情報支援センター 宮内かつら 副センター長他	4/15、6/17 9/20	39
F 支援員等研修	F01	①③	市費教職員新規採用者合同研修会	坂口教育監	4/3(水)	40
	F02	①③	自立支援教員研修会 I～Ⅲ	不登校支援アドバイザー 指導主事	4/22、9/24 1/27	40
	F03	①	特別支援教育支援員研修	県発達障がい情報支援センター 宮内かつら 副センター長	6/25(火)	41





はじめに

令和4年2月に策定された松本市教育大綱では、変化の激しい時代を生きていくために意欲、計画性、粘り強さ、忍耐力、自制心、協調性、創造性、コミュニケーション力といった「生涯の学びを支える非認知的能力」が必要であるとした上で、それらを育むために大切にしていきたい学びの視点として

- ・一人ひとりの個性や能力を尊重した「多様性」を育む学び
 - ・未来を切り拓き、新しい価値を生み出す「創造性」を育む学び
 - ・自己や他者と対話しながら、社会に参画する「主体性」を育む学び
- の3つを掲げています。

このような資質・能力を育んでいくためには、教職員には、これまでの「子ども観」や「授業・指導観」を振り返り、さらなる工夫・改善をしていくことに加えて、保護者や地域、関係機関などと連携・協働していくことを通じて、新たな「教師像」や「学校像」を描いていくことが求められています。

松本市は令和3年度より中核市に移行し、市の教育課題に即した独自の研修を主体的に構想・実施していくことが可能となりました。

以上の経緯を踏まえて、ここに「松本市教職員研修計画」を策定し、松本市の教職員研修を体系化し、教職員自身の多様性・創造性・主体性等の資質・能力をも一層の向上を図り、松本市教育大綱の基本理念である「子どもが主人公 学都松本のシンカ」や松本市教育振興基本計画が掲げる「学びに、遊びや体験を。生涯を通じた学びを保障する松本まるごと学都構想」の具体化を目指していきます。



松本市の教職員研修の基本方針

01 | 願う教師像

子どもの「すがた」と「学び」を問いつける教師

- 子どもの尊厳と人権を尊重する教師
- 子どもの多様性・創造性・主体性を引き出す「学びの伴走者」としての教師
- 子どもとともに成長の喜びを感じ、仲間とともに学び続ける教師



02 | 教職員研修の目的

子ども・教師の育ちと学びを支える教職員研修

- 子どもの尊厳と人権を尊重しながら、子どもを主人公としていく松本市の教育の本質を追求し、参加者の子ども観の問い直しと深まりを目指します。
- 日々の実践や課題を持ち寄り対話することを通じて、参加者の主体性や関係の問い直しと深まりを目指します。

03 | 教職員研修の目標

松本市独自の教職員研修の実施にあたっては、次の各目標に基づき、研修を行っていきます。

- 1 | キャリアステージに応じた研修と現代的な教育課題に対応した研修**
キャリアステージに応じた研修のほか、授業改善や特別支援教育など、現代的な教育課題に対応した研修を実施していきます。
- 2 | 研修ニーズの把握と研修の柔軟な企画・立案**
市独自実施のメリットを生かし、教職員の研修ニーズを多様な方法によって把握し、柔軟に研修の企画・立案に反映させていきます。
- 3 | 多様な方法による研修と学びのコミュニティの形成**
講義型研修のほか、参加型ワークショップや参加者自身による研修企画の創出等、教職員が主体的に参加し、学びのコミュニティを形成できるよう、研修の実施形態を工夫していきます。
- 4 | 教職員の働き方を考慮した効果的な研修**
研修の方法・頻度・時間帯を工夫し教職員が参加しやすい効果的な研修を実施していきます。
- 5 | 指導主事等による学校訪問**
学校のニーズに応じて指導主事等による学校訪問を行い、校内研修の充実を図っていきます。
- 6 | 長野県教育委員会との連携**
研修は松本市での実施のほか長野県教育委員会実施の研修も取り入れていきます。また、研修の共同企画・開催等、県教育委員会との密接な連携を図ります。
(例：初任者研修、キャリアアップ研修Ⅰ～Ⅲ 職務別研修 等)

教職員研修の重点

松本市教職員研修では「子ども観」「授業観・指導観」「教師像」「学校像」の4つの観点から実践を問い直し、教職員がそれぞれの「観・像」を深めていくことを重視しています。

① 「子ども観」の問い直し

○ 多様な子どもの自分らしさを尊重した学びのあり方に関する研修

- ・子どもの見方、子ども理解を深めるために専門家から知見を学ぶ研修
- ・インクルーシブな教室環境・授業づくりに関する研修
- ・子ども理解を深め、特別支援教育における学校全体の指導力・チーム力を高める研修
- ・すべての子どものありようを受けとめ認め、はぐくむ子ども観を深める研修 等

② 「授業観・指導観」の問い直し

○ すべての子どもの資質・能力を育む授業づくりのあり方に関する研修

- ・一人ひとりの人格を尊重し互いを認め合うインクルーシブ教育の推進に関する研修
- ・SDGsとまともな学（地域素材の教材化）の推進に関する研修
- ・テーマ別授業づくり研修
- ・主体的・対話的で深い学びの実現／個別最適な学びと協働的な学びの実現／子どもの「問い」を生かした授業づくり／非認知的能力を重視した授業づくり／教具・文具としてのICTを活用した授業づくり／デジタル・シティズンシップ教育／「遊び」「体験」をベースに置いたカリキュラムづくり

③ 「教師像」の問い直し

○ 「学びの伴走者」としての教師のあり方に関する研修

- ・人権感覚を磨く研修
- ・先哲に学ぶ研修
- ・危機管理研修、学校における働き方改革に関する研修
- ・ファシリテーションおよびコーチング研修／講師サポート研修 等

④ 「学校像」の問い直し

○ 子どもにとって魅力ある学校づくりとマネジメントのあり方に関する研修

- ・学校教育目標具現のための教育課程編成（カリキュラム・マネジメント）に関する研修
- ・指導力・チーム力を高める校内研修・校内研究推進研修（主に教務主任・研究主任対象）
- ・リーダーシップ・フォロアーズ研修（主に管理職対象）
- ・ミドルリーダー研修（主に中堅教員対象）
- ・幼保小中連携のあり方に関する研修 等